



年 報

'22 Annual Report of Nagakute Cultural Center

—令和4年度長久手市文化の家—

はじめに

日頃は、長久手市の文化政策、長久手市文化の家の運営にご理解、ご支援をいただき心から感謝申し上げます。

令和4年4月に長久手市の組織改編により、文化の家は生涯学習課と合併し新しい形態で再スタートしました。文化の家の取組は、広義での社会教育事業として捉えることも可能ですが、本レポートでは長久手市文化芸術マスタープランに則した文化の家事業に限定して報告をいたします。

令和4年度は、新型コロナウイルスによる影響が弱まったものの、引き続き施設運営や事業の制作において細心の感染症防止対策を余儀なくされました。特に海外アーティストの招聘では、入国審査のハードルが高く、来日が叶わなかった事例もありました。しかしながら、感染症対策の規制緩和により施設の利用率は上昇し、各事業への参加者も以前の賑わいを取り戻しつつあります。

そのような中、新しい取組として注目された事業は、東京大学先端科学技術研究センター（先端研）との連携事業です。先端研がアートを生み出す人間の感性に注目して開設した「先端アートデザイン分野」の協力のもと、10月に行ったハイキングコンサートは、長久手市と先端研の連携協定締結へと発展しました。世界規模で持続可能な社会実現が叫ばれる中、文化の家にはアートの力で「自然との共生」を地域から実装していく重要なミッションが与えられたと言えるでしょう。

アーカイブズ事業も、単に過去の資料の整理ではなく、将来的に活用できるデータベースを構築する取組であり、25周年事業や職員の人材育成など未来に向けた取組として引き続き継続し、今後も文化の家に関わるすべての方々にとって、新しい発見をもたらす場となるよう努めて参ります。

長久手市文化の家館長
生田 創

年 報

'22 Annual Report of Nagakute Cultural Center

— 令和4年度長久手市文化の家 —

2023 長久手市

目 次

1 自主事業実施報告	1
(1) 舞台芸術等	2
(2) 企画展示	36
(3) 普及啓発事業	43
(4) シネマ倶楽部事業	60
(5) アートスクール	63
2 長久手市文化の家に関する情報・データ	85
(1) 長久手市文化の家について	85
(2) 組織体制	87
(3) 来館者数	88
(4) 文化の家施設稼働状況	89
(5) 決算状況	90
(6) 視察等対応	93
(7) 職員による諸活動	94
(8) 広報・情報関連報告	96

1

自主事業実施報告

■ 事業数・公演数・入場者（参加者）数

	事業数	公演数	入場者（参加者）数
舞台芸術等	34	50	7,435
企画展示	7	—	5,388
普及啓発事業	17	—	約3,500
シネマの楽しみ	12	24	929
アートスクール	12	228 ※のべ開講日数	140
ワークショップ等	22	—	593

■ 補助金・助成金採択事業

①令和4年度文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	報告書掲載ページ
平日マチネコンサート「午後の佇み 2022」	6, 19, 29
Nagakute Nature-Centered Project ハイキングコンサート 2022	17, 51
創造スタッフ劇場「NEON」	25
JAZZ長久手～やっぱりジャズはイイ！	28
名演への招待シリーズ 20 パトリツィア・コパチンスカヤ ヴァイオリンリサイタル	33
長久手市劇団 座☆NAGAKUTE 第34回公演「風立ちぬ」	34
エデュケーション・プログラム 中学校であと	44, 46, 47
ホール見学 SHOW	49
エデュケーション・プログラム 小学校であと	52, 53, 54, 56
アートデリバリー	58
アートスクール講座「戯曲セミナー講座及び発表会」	64
文化と地域デザイン講座～長久手市編～	67, 77, 81

②瀬戸信用金庫地域振興協力基金助成

事業名	報告書掲載ページ
総合劇集団俳優館公演「わたしの昆虫記」	16
白石加代子「百物語」アンコール公演第4弾	22
東京デスロック「再生」劇団+現地バージョン	31

1 舞台芸術等

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	ながくて寄席 午後の笑時間(ShowTime) 三遊亭わん丈独演会		
日時	令和4年4月27日(水)	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	三遊亭わん丈		
公演内容	近江八景(おうみはっけい) 三遊亭わん丈 匙加減(さじかげん) 三遊亭わん丈		
入場者数	103	入場率	50.5%
チケット料金	(前売)フレンズ会員・一般1,000円		
支出	委託費	220,000円	
	印刷製本費	14,486円	
	計	234,486円	
収入	入場料	110,000円	
	計	110,000円	
回収率	50.0%		

楽しかった。また若手の落語家さんよんでほしい。(市外、50代女性)
 コロナの中に久しぶりに笑える機会。SPEEDがあつてよかった。また機会を作ってほしい。(市内、60代男性)
 アンケート結果
 三遊亭わん丈氏が独演会で1,000円は安い、と思ったら1時間だけでがっかりした。3席は演って3,000円で2時間がよかった。(市内、60代男性)

担当者
コメント

平日の午後、市民の皆様気軽に落語を楽しんでもらえるように、新しく企画した公演。記念すべき初回は人気若手落語家の三遊亭わん丈を迎え、若々しさあふれるいきいきとした内容の公演を披露し、大変好評であった。チケット売り上げは席設定の過半数を超え、需要もあるという事がわかったため、今後もこのような時間帯で落語公演を行っていきたい。なお、今回は二ツ目の公演ということもあり、時間を短く設定したが、もっと楽しみたかったという要望を受け、公演時間を長くすることも視野に入れ、計画していきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名 月夜のファウスト

日 時 令和4年5月26日（木） 19時00分 開演

場 所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業 配信 なし

出演者 串田和美

公演内容 月夜のファウスト 作・演出：串田和美

入 場 者 数 112 入場率 78.9%

チケット料金 （前売）フレンズ会員2,000円
（当日）一般2,500円、学生1,000円

支 出	委託費	339,383円
	計	339,383円

収 入	入場料	234,000円
	計	234,000円


回 収 率 68.9%

アンケート結果 紙芝居か、子どもの一人芝居ごっこか、老人の夢かうつつか、誠の人の一生か、デタラメのようで真実を感じました。（市外、60代、男性）
時間について、思考についてとても考えさせられる公演でした。（市内、20代、女性）
とてもいいホールですね。不思議世界でした、とても。（市外、40代、女性）


担当者コメント まつもと市民芸術館の総監督を務める串田和美による独り芝居。題材はライフワークともいえる「ファウスト」。中世に実在していた錬金術師ファウスト博士の物語と、串田氏の幼少期の記憶などがないまぜとなった私演劇的独り芝居。森のホールを平土間にし、舞台をやや高い位置に設定し、森のホールならではの舞台を作った。串田氏がホールや舞台設定をととても気に入り、またこのホールで公演をしたいと希望されていた。感染症予防のための間引き席が無い客席設定で会場の一体感が生まれ、舞台設定により観客と演者が近くなり迫力がでたため、アンケートでは好意的なコメントが多かった。愛知県内の演劇公演へ積極的に折込を行い、公演直前に券売が急増した。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	順風男女10周年4都市ツアー公演 おてんこうてんおてんてん		
日時	令和4年6月11日（土）		①14時00分 開演②18時00分 開演
	令和4年6月12日（日）		①11時00分 開演②15時00分 開演
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	順風男女（刃山 剛志、足立 信彦、平野 賢佑、伊芸 勇馬、今井 英里、岸波 紗世子、伊藤 摩美）		
公演内容	1. マスク＝バイアス、2. 謙虚な大将、3. 大陸の情熱、4. 医者と患者、5. グットタイミングビール、6. ヤリラフィー、7. 伝説を作る音響監督の風格、8. 超生命体、9. 昨日の送別会、10. ありがとう、11. 誤解と理解		
入場者数	160	入場率	100.0%
チケット料金	（前売）フレンズ・一般3,000円、学生1,000円 （当日）フレンズ・一般3,500円、学生1,000円		
支出	提携事業のため支出なし		
		計	0円
収入	提携事業のため収入なし		
		計	0円
回収率			
アンケート結果	<p>東京公演の初日を拝見して、すごくおもしろかったので愛知に見に来た。もう愛知には来ないと思ってましたので、とても喜んでいる。面白いだけではなく、温かさもあるので、また来て欲しい。</p> <p>コントはうまい役者がやると本当に面白い。</p> <p>※提携先のアンケートのため、属性不明</p>		
担当者コメント	<p>長久手市出身の伊藤摩美率いるコント劇団順風男女の4都市ツアー公演。光のホールの新たな使い方として、小劇場の様な形で演劇公演を実施した。コロナ感染対策として定員の半数の40名としたが、ファンも多く各回満席となる動員であった。11本のコントは常に会場を爆笑の渦に巻き込み、久しぶりに大笑いしたとコメントを残すお客さんも多かった。照明に関して、家庭用のコンセントしかなく、電気容量も少ないため、演劇公演を行う際は事前の確認が必要であると分かった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	JAPAN LIVE YELL project in CHUBU 劇団うりんこ ベイビーシアター「まるまる」		
日時	令和4年7月6日（水）	11時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	川原美奈子、朝比奈緑、浅野加織		
公演内容	ベイビーシアター「まるまる」 作・演出：川原美奈子		
入場者数	10	入場率	100.0%
チケット料金	（前売）親子（子ども1名+保護者1名）1,000、追加大人1,000円 （当日）親子（子ども1名+保護者1名）1,000、追加大人1,000円		
支出	チラシ印刷費	6,495円	
	計	6,495円	
収入	会場運営費	100,000円	
	計	100,000円	
回収率			1539.6%
アンケート結果	<p>長男が12月に参加。今回次男にも見せたいと思い、参加した。長男とは違う表情だったため、楽しかった。今後、兄弟二人が参加できる公演を楽しみにしている。（市内、30代女性）</p> <p>場所見知りする時期で泣いてしまった。生演奏も良く、もっと長くやってほしかった。（市内、40代女性）</p> <p>子どもが楽しそうで、自由にさせてもらえる雰囲気がとても居心地良かった。最初は固まっていたが、少しずつなじんでる様子を見るととても良かった。（市外、30代女性）</p>		
担当者コメント	<p>この公演はJAPANLIVEYELLprojectの中部地方版の企画として上演した。「まるまる」では、子どもの主体的で自由な動きを大切に、上演中も自然のままに、声を出しても、動いても、触っても止めずに、子どもが参加することで成立する「体験の芸術」となっており、今回の参加者も存分にこの芸術を楽しめたと思われる。</p> <p>ベイビーシアターは入場できる人数が限られている点がネックとなっているため、今後はどのようにより多くの市民の皆さんに体験していただけるかを検討していきたい。</p>		

公演名	午後の佇み2022① 二胡とピアノの調べ		
日時	令和4年7月13日（水）	14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信 なし	
出演者	劉鉄鋼（二胡）、越智健二（ピアノ）		
公演内容	川の流れるように、別れの朝、また君に恋してる、愛の讃歌、他		
入場者数	242	入場率	68.2%
チケット料金	(前売) 1,000円 (当日) 1,000円		
支出	委託費	200,000円	
	チラシ印刷費	15,055円	
	著作権使用料	5,775円	
	計	220,830円	
収入	入場料	242,000円	
	文化庁助成金	88,000円	
	計	330,000円	
回収率	149.4%		
アンケート結果	<p>知っている曲も多く、知らない曲も耳に残るような選曲ばかりで良かった。二胡の演奏をたまにきいているけれど、今回が1番よかった。（市外、30代女性）</p> <p>とても二胡の素晴らしい音色が聴けた。選曲も良く自分史のエポックと曲が連動し、しみじみ聴きほれた。（市内、男性70代）</p> <p>愛知県内の大学で二胡の部活に所属している。今後の演奏での参考にしたい。音色も良かった。定期演奏会で人前で話すので、話し方も参考にしたい。（市外、20代女性）</p>		
担当者コメント	<p>平日の昼間に気軽に来られるコンサートシリーズとして開催している午後の佇みシリーズ。今回は、本シリーズのメインターゲット層である中高年齢層に向けて、青春時代に流行した歌謡曲の選曲をお願いした。その結果、二胡という楽器をよく知らない客層にも楽しんでいただける演奏会となった。今後も様々なジャンルで楽しんでいただけるシリーズにしたい。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名

ジョイントフェスティバル2022
kajiiの日用品楽器コンサート～食器は歌う～

日時 令和4年7月29日（金）

14時00分 開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業

配信 なし

出演者 kajii創、クマーマ

公演内容

ハツタイケン（熊谷将）、トルコ行進曲（Wolfgang Amadeus Mozart）、Jupiter（Gustav Holst）、流星群（熊谷将）、Under The Sea（Alan Menken）、A Whole New World（Alan Menken）、Let It Go（Robert Lopez）、小さな世界（Robert Bernard Sherman）、ミッキーマウスマーチ（Jimmie Dodd）、ハイホー（Frank Churchill）

入場者数 259

入場率 103.6%

チケット料金

（前売）フレンズ会員・一般1,500円、小・中学生500円、未就学児無料
（当日）フレンズ会員・一般1,500円、小・中学生500円、未就学児無料

支出

委託費 279,240円

チラシ印刷費 23,280円

著作権使用料 2,200円

計 304,720円

収入

入場料 193,000円

計 193,000円

回収率

63.3%

アンケート結果

一緒にバネ缶を演奏できて、楽しかった。子供たちの目がキラキラ輝いていた。（市外、30代女性）
お皿やおわんで演奏していたのが、すごいきれいな音でおもしろかった。（市内、10代男性）
最高。これぞエンターテイメント。これからもがんばってほしい。（市外、50代女性）

担当者
コメント

ジョイントフェスティバル協議会との共同主催の音楽公演。公演当日は満席。kajiiの人気の高さが伺えた。音楽を聴かせるだけで無く、観客参加型の音楽もあり、アンケートからもとても楽しんでいただいていた様子が伺える。会場内の栈敷席の子どもたちも楽しんでいたが、手すりにぶら下がったりするなど、大変危険な行動をする子たちもいた。楽しんでもらうことはもちろん大切だが、子ども達が危険な行為を行わないような工夫が必要だと感じ、今後対策を検討しながら実施していきたいと考えている。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 劇団B級遊撃隊 第60回本公演 らんぷ

	日	時	令和4年7月29日（金）	①19時00分 開演
			令和4年7月30日（土）	②14時00分 開演③18時00分 開演
			令和4年7月31日（日）	④14時00分 開演

場 所 長久手市文化の家 風のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携） 配信 なし

出演者 劇団B級遊撃隊
鬼頭卓見、山口未知、佃典彦、まどか園太夫、大脇ばんだ、三井田明日香、神谷尚吾

公演内容 らんぷ
作：佃典彦 演出：神谷尚吾

入場者数 390 入場率 48.8%

チケット料金 (前売) フレンズ会員 3,200円、一般 3,500円、U-25 3,000円
(当日) フレンズ会員 3,500円、一般 4,000円、U-25 3,000円

支 出		提携事業のため支出なし
	計	0円

収 入		提携事業のため収入なし
	計	0円

回 収 率

アンケート結果 生の舞台のすごさと、楽しさと、面白い台本とに生きる力をもらった。（市外、50代女性）
言葉にできないが、ものすごく今の私に響いた。（市内、50代女性）
南吉の作品をからめた作品だったため、とても親近感を持って見れた。（市外、20代男性）

担当者コメント
コロナ禍以降の劇団B級遊撃隊による本公演は、今回が初めてであり、待望の公演であった。原作を新美南吉の「おじいさんのらんぷ」としつつも、佃典彦氏による不条理劇として仕立てられており、非常に見応えのある作品となっていた。戯曲の内容、演出ともに来場者からの評価も高く、本格的な演劇公演を待ち望んでいた層からの期待に応えた形となった。集客が少し伸び悩んだところは残念であったが、今回は提携事業だったため、劇団側とももっと密に連携がとれるとよかった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	ジョイントフェスティバル2022 劇団ラ・バラッカ公演 ファミリエ (Famirie) -家族-		
日時	令和4年8月7日 (日)	①11時00分開演②14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	劇団ラ・バラッカ (アンドレア・ブゼッティ、ロレンツォ・モンティ)		
公演内容	ファミリエ (Famirie) -家族-		
入場者数	132	入場率	51.6%
チケット料金	(前売) フレンズ会員・一般2,000円、2歳～中学生500円、2歳未満入場不可 (当日) フレンズ会員・一般2,000円、2歳～中学生500円、2歳未満入場不可		
支 出	委託費	660,000円	
	チラシ印刷費	26,238円	
	著作権使用料	6,050円	
	計	692,288円	
収 入	入場料	176,500円	
	計	176,500円	
回 収 率			25.5%

最後の質問コーナーで、大人も子どもも一緒に舞台を観て、問いをたくさん探すというのが心に残りました。(市内、40代女性)

アンケート結果 多様性を重んじていてよかった。(市内、10代男性)


初めてしゃべらない劇を観た。言葉をしゃべらなくても感情が伝わって良かった。(市内、10代女性)

担当者
コメント

ジョイントフェスティバル協議会等との共同主催の海外招聘作品公演。感染症の影響が減少し、徐々に渡航制限が緩和されてきた昨今、協議会にとって2年ぶりとなる海外招聘公演を試みた。今回の作品は言葉のない作品(ノンバーバル作品)であり、演者の細やかな表情や動きだけでその人の状況や感情を読み取る演劇。幼児向け作品だが、実は「家族の幸せとはなにか」を感じ取ってもらいたいというメッセージがこもっており、大人にとっても、様々な想像力をかき立てられる内容になっていたのではと考えられる。幼児対象の公演は、午後にお昼寝をする関係上、午後の入場率が特に悪かった。市内だけでなく、市外にもっと広報するなどして、入場率アップにつなげたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	MARIMBA NIGHT (国際マリンバフェスティバル前夜祭)		
日 時	令和4年8月26日 (金)	19時00分 開演	
場 所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業 (提携)	配信	なし
出演者	国際マリンバフェス出演者、日本マリンバ協会愛知支部会員、スカルサクラ (ガムランジェゴッググループ) 名古屋音楽大学学生		
公演内容	さくら (日本古謡)、火華 (朝吹英一)、Bamboo Song (R.ガヤルド)、Goldberg-Variationen (J.S.バッハ)、Sculpture in wood (パヴァッサー)、トゥルントウガン、マカプン、cafe jegog (R.ガヤルド)、The weve impression (安倍圭子)、Borelo (ラベル)		
入場者数	207	入場率	40.9%
チケット料金	(前売) 一般、フレンズ会員 2,000円、学生1,000円 (当日) 一般、フレンズ会員 2,000円、学生1,000円		
支 出			提携事業のため支出なし
	計		0円
収 入			提携事業のため収入なし
	計		0円
回 収 率			
アンケート結果	<p>演奏家によって多彩なマリンバをきくことができ、プログラムも古典から現代のものまで色々なテイストでおもしろかった。海外のアーティストの演奏に公共でふれられること、地域のアーティストとの交流があること、素晴らしい企画だと感じた。(市外、30代女性)</p> <p>近くに住んでいて何となく入場したが、とても良かった。ジェゴクははじめて聞く言葉だったが、迫力がすごかった。(市内、40代男性)</p> <p>とてもホールがきれいだった。外国のマリンバ奏者たちの演奏がきけてうれしかった。Jegogに勢いを感じた。他の民族楽器に興味を持った。(市外、10代女性)</p>		
担当者コメント	<p>翌日のメインコンサートに繋げるべく開催した。メインコンサートに比べて比較的聴きやすい選曲にし、またマリンバだけでなく、バリ島の民族楽器ガムランジェゴッグやパーカッションなどを加えて行ったため、お客様には楽しんで観覧していただけた。メインコンサートとの違いがわかりにくいためか集客には今一つ厳しい結果となった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	国際マリンバフェスティバル メインコンサート		
日時	令和4年8月27日（土）	18時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	Katarzyna Mycka、Conrado Moya、Ricardo Gallardo、Svet Stoyanov ※Svet Stoyanov氏は、諸事情により来日できず、出演キャンセル		
公演内容	ゴルトベルグ変奏曲（J.S.バッハ）、Macondo（ジョン・ポール・ジョーンズ）、Saeta y Bulerias（リカルド・ガヤルド）、KYOTO（ジョン・ササス）、シャコンヌ（J.S.バッハ）、In the Fire of Conflict（クリストス・ハツイス）、夜の訪れ（エクトル・インファンソン）		
入場者数	244	入場率	48.1%
チケット料金	（前売）フレンズ会員2,500円、一般3,000円、学生1,500円 （当日）フレンズ会員2,500円、一般3,000円、学生1,500円		
支出	運営補助委託料	250,000円	
	報償費（出演料）	1,150,000円	
	印刷費（チラシ2,000部、プログラム700部）	73,192円	
	著作権使用料	22,453円	
	計	1,495,645円	
収入	入場料	630,500円	
	計	630,500円	
回収率			42.2%
アンケート結果	<p>とても濃い2時間だった。マリンバの魅力が又1つ増えた。（市外、70代女性）</p> <p>舞うように踊るように弾いていたのが印象的だった。（市内、70代女性）</p> <p>クラシックも現代アートのような音楽もあり、興味深かった。（市内、30代女性）</p> <p>記載されている曲順とプログラム順が異なっていてわかりづらい。（県外、30代男性、他複数）</p>		
担当者コメント	<p>カタジーナ・ミチカ氏を始めとする世界的な4人のマリンピストを招き、日本では前例のない豪華なコンサートを開催した。国際的なマリンバの祭典は国内で初開催である。マリンバ界の巨匠たちによる独奏やアンサンブルが披露された。マリンバの真髄ともいえる名演の数々により、発展し続けるマリンバの世界の最先端を感じられる公演となった。今回、スヴェット・スタヤノフ氏が出演できなかったが、同氏を含めたメンバーの再共演を望む声が多く聞かれた。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	国際マリンバフェスティバル出演者によるマスタークラス		
日時	令和4年8月28日（日）	14時00分	開演
場所	森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
受講者	見延詩貴、河野翔磨、松下真奈、前川礼奈、亀山佳音、西村雅、殖田真由、渡邊桃佳		
公演内容	Merlin1,2/A.thomas、Luminosity/T.Golinski、Four Rotations for Marimba/E.sammut、Departures/E.sejourne、Sculpture3/R.pawasssar		
入場者数	30		
チケット料金	（前売）一般1,000円、フレンズ会員500円 （当日）一般1,000円、フレンズ会員500円		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率			

アンケート結果 アンケート実施せず

担当者
コメント

マスタークラスの受講生は、主に中部地区で演奏活動を行っているプレイヤーで、今回は5組受講した。楽曲分析やその奏法など、かなり細かい部分まで指導が入った。一度に3人のアーティストから助言をもらえる機会がめったになると、受講生も聴講していた方々も満足なマスタークラスとなった。




長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	ジョイントフェスティバル2022 冒険舎「となりのたぬき」		
日時	令和4年9月18日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	内藤美佐子、どうけいちこ、youu-ji		
公演内容	となりのたぬき 原作：せなけいこ 脚本：星川ちさ 演出：堀伸夫		
入場者数	94	入場率	78.3%
チケット料金	（前売）一般：1,500円 小・中学生：500円 未就学児：無料 （当日）一般：1,500円 小・中学生：500円 未就学児：無料		
支出	委託費	153,230円	
	印刷製本費	25,717円	
	計	178,947円	
収入	入場料	84,000円	
	計	84,000円	
回収率	46.9%		
アンケート結果	<p>息子（3歳）が大変面白かったと言っていた。本も買って読んでみようと思った。（市外、30代男性）</p> <p>「もう1回みたい。」と娘が言っていた。笑いあり感動ありで楽しかった。たぬきとうさぎが「自分と妹みたい」だと言っており、良い教訓になった。深い話であった。（市外、30代女性）</p> <p>最後たぬきとうさぎが仲良くなり、よかった。（市内、9歳以下女性）</p>		
担当者コメント	<p>ジョイントフェスティバル協議会等との共同主催の演劇公演。子ども向け作品ではあるが、たぬきとうさぎを通じ、「嫌いな人」とどのように付き合っていくかを考えさせられる内容となっていた。コミカルな動きなどで子どもたちが楽しめたのはもちろん、大人も楽しみながら、様々な人との付き合い方を見つめ直すきっかけになったと考えられる。広報面では、宣伝材料（練習風景写真等）が少なく、SNS等を利用して同じような内容を掲載するような形になり、真新しいものがなかった。団体から宣伝材料をできるだけ出してもらえよう働きかけ、積極的に広報をしていきたい。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	Music Weekend 2022 室内楽の楽しみ		
日時	令和4年9月25日（日）	16時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	後日配信のみ
出演者	市原風太（Pf.）、稲垣英里奈（Vn.）、園部真秀（Vla.）、稲垣悠佑（Vc.）、菅原舞永（Pf.）、尾上一葉（Fl.）、井上慎介（Ob.）、庄司直央（Cl.）、小林璃実（Vn.）、溝口琴音（Vc.）、清水愛理（Pf.）、松尾悠生（A.Sax.）、大橋音子（B.Sax.）、山本奈緒（Ob.）、前田雄輝（Vn.）、小山日向美（Vla.）、坂田晃子（Vc.）、神野拓斗（Pf.）、鎌田鴻太郎（Vn.）、宮脇彩永（Pf.）、滑川敬一（Cl.）、国崎祐未（Ob.）、圖子怜央奈（Cl.）、豊倉雅大（Vn.）、高東典央（Vla.）、金関あんず（Cb.）		
公演内容	ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品47より第1,4楽章（R.シューマン）、フルート、オーボエ、クラリネット、ピアノのための四重奏曲より第1,2,4楽章（J.M.ダマーズ）、ピアノ三重奏曲 ト長調 作品15より第1楽章（B.スメタナ）、トリリトン（長生淳）、オーボエ四重奏曲 ヘ長調 KV370(368b)（W.A.モーツァルト）、ピアノ三重奏曲 イ短調 作品32より第1,3楽章（A.アレンスキー）、クラリネット、チェロ、ピアノのための三重奏曲（N.ロータ）、五重奏曲 ト短調 作品39より第1,5楽章（S.プロコフィエフ）		
入場者数	157	入場率	79.3%
チケット料金	（前売）一般1,000円、学生500円 （当日）一般1,000円、学生500円		
支出			提携事業のため支出なし
	計		0円
収入			提携事業のため収入なし
	計		0円
回収率			
アンケート結果	<p>小さめのホールで真近な演奏は至福の時間だった。（無回答、60代男性）</p> <p>演奏前に短く挨拶してもらおうと、より身近に感じると思う。（無回答、無）</p> <p>若い皆さんの元気な演奏から元気を頂いた。（無回答、70代女性）</p>		
担当者コメント	<p>毎年行われる愛知県立芸術大学の学内オーディションによって選抜された室内楽グループによる演奏会。3回のミーティングを出演者と文化の家事務局とで開催し、劇場運営方法などを学んでいる。出演者自身のプレスリリースなどが、できなかったのが残念だったが、演奏会は、メジャーな曲目がないなか、常連のお客様もついているコンサートとあって、満席に近い入りであった。</p>		


長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	創造スタッフ企画 トワイライトダンス		
日時	令和4年10月1日（土）	18時30分 開演	
場所	芝生広場		
事業の種類	アートのまち創造事業	配信	なし
出演者	林友里菜（舞踊系創造スタッフ）、大脇ぱんだ（演劇系創造スタッフ） 弓立翔哉、小田智之（音楽系創造スタッフ） 松林由華（ダンス）		
公演内容	主に音楽や朗読と組み合わせた即興でのダンス公演 屋外で夕暮れを背景にダンスを楽しむ観覧自由の公演 朗読使用作品：無名の罪人（作 小西祐矢）		
入場者数	50		
支出	共演者出演委託費		20,000円
	計		20,000円
収入	入場料		0円
	計		0円
回収率	0.0%		
アンケート結果	アンケートなし		

担当者
コメント

創造スタッフ企画展「展観するダンス」に合わせて開催し、ダンスへの興味を持つきっかけを創出するために開催。コンテンポラリーダンスというジャンルでの集客は難しい場合が多いが、今回は非常に多くのお客様にご来場いただけました。秋の気持ちのよい季節の夕暮れに屋外で、観覧フリーだった点は効果的だった。このイベントをきっかけに、後日開催された「展観するダンス」にご来場いただけただお客様も見え、成果を見ることができた。このような経験を生かして、今後はホールでのダンス公演にもつなげていきたい。



公演名	総合劇集団俳優館公演「わたしの昆虫記」		
日時	令和4年10月2日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	みやちともこ、谷口真規、鈴木かえり、水原あきは、丹羽智則、山内庸平		
公演内容	わたしの昆虫記 作・演出：右来左往		
入場者数	172	入場率	39.3%
チケット料金	（前売）フレンズ会員・一般2,000円 高校生以下1,000円 （当日）フレンズ会員・一般2,000円 高校生以下1,000円		
支出	委託費	1,000,000円	
	チラシ印刷費	35,089円	
	おやこ劇場協力費	20,000円	
	計	1,055,089円	
収入	入場料	299,000円	
	瀬戸信用金庫地域振興協力基金	280,000円	
	計	579,000円	
回収率	54.9%		
アンケート結果	<p>とてもよかった。戦争のこわさや苦しさがとても感じた。最後に戦争へいってしまうのがなしく切なかった。（市外、10代女性）</p> <p>兵士らが女の子たちに「心は変わる」ということを教えていたところに感動した。（市外、10代男性）</p> <p>このあと、あの6人の人生はどんなふうになっていくのか、あの3日間がどんなふうに影響していくのか、いろいろ想像してみたい。（市外、50代女性）</p>		
担当者コメント	<p>長久手おやこ劇場との協力事業として開催。この作品は戦争まっただ中の時代を生きた女学校生徒と特攻兵として任命された青年たちの物語。戦時中の自由に生きることが困難な時代でも中高生たちがいきいきと過ごしている様子を表現している。生きにくい時代でも「自由な発想で、自分らしく生きて良いんだよ」という大きなメッセージを主人公と同世代の子たちに伝えることができたと考えられる。また、国同士が対立するニュースが目につく昨今、戦争について改めて考える機会となる作品を提供できたとも考えられる。</p>		

公演名	Nagakute Nature-Centered Project ハイキングコンサート2022 ～森のなかに音楽が、しみわたる。		
日時	令和4年10月30日（日）	9時30分 開演	
場所	長久手市内(色金山歴史公園、香流川緑地、多度神社、つむぎて圃場)		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	近藤薫(1st ヴァイオリン),荒井里桜(2nd ヴァイオリン),児仁井 かおり(ヴィオラ),広田 勇樹(チェロ),渡邊玲雄(コントラバス),橋本 岳人(フルート),大島 弥州夫(オーボエ),ブルックストーン 信雄(クラリネット),滑川 敬一(クラリネット),田作 幸介(ファゴット),安土 真弓(ホルン),西條 貴人(ホルン),井上 圭(トランペット),宮本 弦(トランペット),倉田 寛(トロンボーン),林 裕人(チューバ)		
公演内容	<色金山歴史公園>弦楽五重奏曲第2番 ト長調作品77より第1楽章(A.ドヴォルザーク) <香流川緑地>戦いの組曲(S.シャイト),空想・夢・おもちゃ(G.ファーナービー) <多度神社>17世紀の古いハンガリー舞曲(ファルカシュ.F),ノヴェレッテ(F.プーランク(G.エマーソン編)) <つむぎて圃場>ジークフリート牧歌(R.ワーグナー)		
入場者数	32	入場率	106.7%
チケット料金	(前売) 中学生以上3,000円、小学生1,000円、未就学児無料		
支出	委託費	1,570,000円	
	コーディネート	200,000円	
	会場設営	50,000円	
	著作権使用料	825円	
	計	1,820,825円	
収入	入場料	78,000円	
	(補助金)文化庁	725,000円	
	計	803,000円	
回収率	44.1%		
アンケート結果	座っておりこうさんに室内で聴くだけが音楽ではないと改めて思った。子どもは目線が低いので、自然のもの（どんぐり等）が私たちより大きく見えているなあと改めて実感した。五感で楽しめた。 (市外、30代男性) しぜんとのえんそうがいい。(市内、10代女性) 自然の中で音の響きが残らないことで、より楽器の音色がダイレクトに届き、風の音、鳥の音、枯れ草の匂い、相乗効果が素晴らしい。(市外、60代女性)		
担当者コメント	<p>東京大学先端科学技術研究センターとの連携事業として開催。市内に残る里山の風景の中で音楽を聴くことで、自然の一部である人間の存在や共生について気づく機会を創る。自然の中でクラシック音楽を聴く体験は誰もが初めてのことで、参加者全員が自然との共生、Nature-Centered(自然中心主義)への理解を深めていけたと感じている。雨天でも晴天時に劣らないプログラム提供の仕方を考える必要がある。また、初回であり規模・出演者ともに贅沢な事業であったため、継続性を視野に事業を進めていきたい。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 長久手フィルハーモニー管弦楽団 第35回定期演奏会

日時 令和4年11月20日（日） 14時30分 開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携） 配信 なし

出演者 長久手フィルハーモニー管弦楽団
指揮：高谷光信
ヴァイオリン：平光真彌

公演内容 歌劇「魔弾の射手」序曲作品77（ウェーバー）
ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品61（ベートーヴェン）
交響曲第6番ロ短調作品74「悲愴」（チャイコフスキー）

入場者数 478 入場率 76.2%

チケット料金 （前売）フレンズ会員700円、一般800円
（当日）1,000円

支出 提携事業のため支出なし
計 0円

収入 提携事業のため収入なし
計 0円

回収率

アンケート結果 かなり伸びしろがあるオケだと感じた。指揮者が素晴らしい。これからの期待する。（県外、60代男性）
長久手に住んで17年だが、オケがあることを知らなかった。素晴らしい演奏だった。（市内、60代女性）
指揮者の迫力がすごくよかった。表情もよく見えるので、マスクを外してもよいと思う。（市外、30代女性）

担当者コメント 年に2回行われている定期演奏会の2回目となる今回は、地元アーティストの平光氏をソリストに迎え、ベートーヴェンのヴァイオリンコンチェルトや、チャイコフスキーの交響曲第6番「悲愴」など、大曲にチャレンジしていた。指揮者高谷氏は、今回からミュージックアドバイザーに就任するなど、団員からの信頼も厚く、観客からのアンケートでも好評を得た。




公演名	午後の佇み2022② 古くて新しいフォルテピアノの世界		
日時	令和4年11月25日（金）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	リアルタイム・後日
出演者	荒川智美（フォルテピアノ）		
公演内容	ソナタ第1番 ト長調 作品17より、第1楽章（J.Ch. バッハ） ソナタ第11番 イ長調 K.331より、第3楽章「トルコ行進曲」（W.A.モーツァルト） ソナタ第8番 ハ短調 作品13「悲愴」（L.v.ベートーヴェン）		
入場者数	117	入場率	46.1%
チケット料金	（前売）1,000円 （当日）1,000円		
支出	委託費	200,000円	
	印刷製本費	20,384円	
	計	220,384円	
収入	入場料	123,000円	
	文化庁助成金	88,000円	
	計	211,000円	
回収率	95.7%		

アンケート結果 スライドを使っでの説明や曲や楽器についての解説もありとても楽しめた。（市外、30代女性）
フォルテピアノは初めて聴いた。なつかしい素朴さがあった。（市内、80代女性）
18世紀の終わりの音を感じられた。今後もこの企画を続けて頂きたい。（市外、70代男性）

担当者コメント 平日の昼間に気軽に来られるコンサートシリーズとして開催している午後の佇みシリーズ。フォルテピアノの演奏会は、文化の家ではほとんど開催実績が無く、初めてフォルテピアノを聴いたという声が多かった。写真付きの解説も好評で、フォルテピアノの仕組みも説明することができ、新しいクラシック音楽の魅力を伝えるという目的が達成できた。古楽の演奏会を中心に周知を行っていたが、集客面では課題を残したため、もう少し広く県内の演奏会に折り込みなどを行う必要があったように思われる。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	愛知県立芸術大学オペラ「いつわりの女庭師」W.A.モーツァルト		
日時	令和4年12月3日（土）	14時00分 開演	
	令和4年12月4日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	<p>【12月3日（土）】澤井佑介（ドン・アンキーゼ）、田邊実遊、土井里佳子（サンドリーナ）、奥村心太郎（ベルフォーレ）、川口百佳（アルミンダ）、横尾萌、尾崎保乃歌（ラミーロ）、岡菜月、小山小百合（セルベッタ）、上田賢、伊藤友祐（ナルド）</p> <p>【12月4日（日）】住原春樹（ドン・アンキーゼ）、中村清美（サンドリーナ）、寺島大雄（ベルフォーレ）原田幸子（アルミンダ）、小坂千尋（ラミーロ）、柴田千沙都（セルベッタ）、清水光希（ナルド）</p>		
公演内容	歌劇「いつわりの女庭師」（W.A.モーツァルト）全幕 指揮：糸原裕介 演出：飯塚励生		
入場者数	721	入場率	70.5%
チケット料金	（前売）2,000円 （当日）2,000円		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率			
アンケート結果	<p>今回のように、あまり知られていない演目でも面白い作品はたくさんあると思うので、どんどん挑戦してほしい。（市内、50代女性）</p> <p>せっかく迫力のある演技なのに、字幕の位置が高すぎて読んでいるとステージが見えにくくなったことがおしかった。（市外、80代女性）</p> <p>オペラはあまり観劇しないのだが、字幕スーパー付きだったので内容もわかりやすく楽しめた。（市外、60代男性）</p>		
担当者コメント	<p>毎年恒例の公演ということで、固定客もついており盛況であった。演目はあまり知られていないものだが、演出、美術背景等工夫されていたため、観客からも好評だった。昨年字幕の位置が見にくいという意見が出ていたが、今年は中央上部に見直して設置したため概ね不評な意見はなかった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	フレンズ企画Part44 フレンズ クリスマスコンサート Duo Aise デュオ エーゼ		
日時	令和4年12月7日（水）		14時00分 開演
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	市民参画事業（提携）		配信 なし
出演者	Duo Aise 中西美知子（ヴァイオリン） 風呂矢早織（ピアノ）		
公演内容	ヴァイオリンソナタ1番（ヘンデル）、いつか王子様が（チャーチル）、煙が目にしみる（カーン）、アイ・ガット・リズム（ガーシュウィン）ほか		
入場者数	176	入場率	45.2%
チケット	（前売）フレンズ会員1,000円、一般1,200円 （当日）一般1,000円		
支出			提携事業のため支出なし
		計	0円
収入			提携事業のため収入なし
		計	0円
回収率			
アンケート結果	アンケート実施せず		
担当者コメント	<p>フレンズの自主企画によるコンサートの44回目。今回は地元で活動するヴァイオリンとピアノのデュオであった。クラシックとジャズの耳なじみのある曲が選曲されており、曲紹介や話も楽しく、クリスマスコンサートにふさわしい内容となった。</p>		




公演名	白石加代子「百物語」アンコール公演第4弾 「小袖の手」宮部みゆき、「栞の恋」朱川湊人		
日時	令和4年12月8日（木）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	白石加代子		
公演内容	白石加代子「百物語」アンコール公演第4弾 「小袖の手」宮部みゆき、「栞の恋」朱川湊人 構成・演出：鴨下信一		
入場者数	353	入場率	80.0%
チケット料金	（前売）一般4,500円、フレンズ4,000円、シニア割4,200円、U25割2,500円、2階席3,000円 （当日）一般4,500円、フレンズ4,000円、シニア割4,200円、U25割2,500円、2階席3,000円		
支出	公演委託費	2,000,000円	
	動画作成委託費	8,800円	
	チラシ印刷費	23,233円	
	看板印刷作業費	44,000円	
	情報ページ掲載料	55,000円	
	計	2,131,033円	
収入	入場料	1,453,700円	
	瀬戸信用金庫地域振興協力基金	338,000円	
	計	1,791,700円	
回収率	84.1%		

アンケート結果
 もっと多くのプロデュース公演や演劇を誘致してほしい。（市外、50代男性）
 独特の世界に、何一つ見逃したくないと集中させてくれる、素晴らしい舞台であった。（市外、60代女性）
 初めて朗読公演を体験した。これからも素敵な作品に出会いたい。（市内、40代女性）

担当者コメント
 NHK大河ドラマ『花燃ゆ』、NHK連続テレビ小説『ひよっこ』など多作品で活躍するベテラン女優白石加代子の朗読演劇。白石氏は怪談話の朗読劇を主に行っており、観客はみな白石氏の発声、強弱、緩急の付け方等のテクニックにより、物語の恐怖に陥れられていた。長久手市内だけでなく、近隣からの観客も多く見られ、大きな集客となった。劇中、スマートフォンからと思われる通知音が鳴ったため、休憩時間中に電源を切るよう場内アナウンスをしたが、劇の最終場面で同じ通知音が鳴った。これは劇場だけではなく、観客や出演者にとってとても残念なことであるため、このようなことが発生することがないように、どのように場内のお客様にお伝えすることができるか検討していきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	落語theディスカバリー		
日時	令和4年12月11日（日）	15時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	春風亭柳枝（しゅんぶうていりゅうし）、春風亭朝枝（しゅんぶうていちょうし）、桂華紋（かつらかもん）、桂二葉（かつらによう）、桂弥太郎（かつらやたろう）（トークコーナー司会）		
公演内容	トークコーナー 出演者全員 「牛ほめ」 桂 華紋 「夢の酒」 春風亭 朝枝 「そば清」 春風亭 柳枝 「佐々木裁き」 桂 二葉		
入場者数	208	入場率	73.2%
チケット料金	（前売）フレンズ会員2,500円、一般3,000円 （当日）3,500円		
支出			提携事業のため支出なし
		計	0円
収入			提携事業のため収入なし
		計	0円
回収率			
アンケート結果	女性落語家と東西比較という趣向に関心を持ち、参加した。各人の強みを存分に生かした芸で、大変良かった。（市外、40代男性） スマチケの入場が大変スムーズにできて良かった。（市外、60代女性） 最初のわかりやすい解説がとても良かった。久しぶりに涙が出るほど笑った。（市外、50代女性）		
担当者コメント	江戸と上方の噺家4人で構成する落語会を提携事業として実施した。当初売り上げが伸び悩んだが、桂二葉氏が全国放送の朝のTV番組に出演した影響もあってか、じわじわと販売数を増やしていった。関西のスピード感満載の桂華紋氏、見事な演じ分けを見せた春風亭朝枝氏、ご当地ネタを織り交ぜ笑いを誘う春風亭柳枝氏、元気で若さと可愛らしさで魅了する桂二葉氏、公演の謳い文句であった「江戸落語と上方落語の趣の違いを味わってもらおう」はもちろんのこと、各噺家の個性を存分に味わっていただける内容であった。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 日東工業presents 吹奏楽フェスティバル in Nagakute

日時 令和4年12月18日（日）

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携） 配信 リアルタイムのみ

出演者 長久手中学校、長久手南中学校、長久手北中学校、長久手高等学校、栄徳高等学校、愛知県立大学吹奏楽サークル、吹奏楽団響

公演内容 合同演奏：海を越えた握手（スーザ）、ジブリメドレー（久石譲）、宝島（和泉宏隆）

入場者数 187 入場率 74.8%

支出 提携事業のため支出なし
計 0円

収入 提携事業のため収入なし
計 0円

回収率

子供の演奏を初めて見ることができ良かった。合同演奏は迫力があって子供たちの刺激になると思う。（市内、40代女性）

アンケート結果 中、高、大学生、社会人といろいろな年代の演奏が聴けたこと、また、一緒に演奏していることが素晴らしい。（市内、40代男性）

3年ぶりの合同演奏が圧巻であり感動した。とても貴重な経験だと思った。（市内、50代女性）

担当者
コメント

市内の吹奏楽団体が一同に会する吹奏楽フェスティバル。今年度は3年ぶりに合同演奏も開催した。感染症対策のため、一人一人の間隔を開け平土間形式での演奏のため、演奏を揃えるのが難しそうであったが、学生同士が互いの練習の成果を見る機会となり、社会人で演奏活動をしている大人と取り組む事業としても非常に貴重な機会となった。少しではあるが観客も入れ、動画配信も行った。昨年に引き続き、日東工業株式会社にバックアップいただき、プレスリリースも協力いただいた。



公演名	創造スタッフ劇場「NEON」		
日時	令和4年12月24日（土）	①11時00分開演	②14時00分開演
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	後日配信のみ
出演者	林友里菜（ダンス／創造スタッフ）、大脇ばんだ（俳優／創造スタッフ）、小田智之（作曲・キーボード他／創造スタッフ）、弓立翔哉（パーカッション／創造スタッフ）、小西祐矢（美術／創造スタッフ）、高野葵（美術／創造スタッフ）、至学館大学創作ダンス部		
公演内容	「NEON」（オリジナル作品） 原案：小西祐矢（美術系創造スタッフ） 台本：大脇ばんだ（演劇系創造スタッフ）		
入場者数	152	入場率	24.8%
チケット料金	（前売）500円 中学生以下無料（要整理券） （当日）500円 中学生以下無料（要整理券）		
支出	印刷製本費		35,800円
		計	35,800円
収入	入場料		57,000円
		計	57,000円
回収率			159.2%

アンケート結果
 昨年とはまたちがったコンセプトでとても良かった（市内 50代男性）
 会場に入ったとたんネオンの世界にとびこんだみたいでわくわくした！！（市内 20代女性）
 私もアップデートしようと思った。とてもいいお話だった（市外 40代女性）
 ダンスがとてもおもしろかった（市内 9歳以下女性）

担当者コメント
 創造スタッフの専門分野をそれぞれが生かしたオリジナル公演を制作するという目的を大きく達成できた。準備に約1年をかけた集大成公演にふさわしい内容となり、子どもから大人まで幅広い年代に楽しんでもらうことができた。また席設定に対して集客にまだ改善が可能と思われるため努力したい。さらに当日大雪に見舞われるトラブルで集客が減ってしまったことは悔やまれるが、臨機応変な対応によって無事公演を開催できたことはよかった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	創造スタッフ企画 朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ④「おしいれのぼうけん」		
日時	令和5年1月21日（土）	①11時00分②14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	大脇ぼんだ（朗読／創造スタッフ）、弓立翔哉（打楽器／創造スタッフ）、小田智之（作曲・ピアノ／創造スタッフ）		
公演内容	朗読と音楽シリーズの第4弾。演劇系創造スタッフ大脇ぼんだによる朗読と、音楽系創造スタッフの弓立翔哉と小田智之の即興演奏で創る朗読と音楽企画。 「おしいれのぼうけん」作：ふるたたるひ／たばたせいいち		
入場者数	141	入場率	86.0%
チケット料金	（前売）フレンズ・一般500円 （当日）フレンズ・一般500円		
支出	印刷製本費	38,106円	
	著作権使用料	10,000円	
		計	48,106円
収入	500円×150人	入場料	75,000円
		計	75,000円
回収率			64.1%

アンケート結果
初めての経験だった。朗読とはこうしてやるものなんだと感じた。（市外、70代女性）
とても臨場感のある朗読だった。子供の頃の、なつかしい気持ちになった。（市内、40代男性）
はく力やしょうめい、声の感じがとてもいいなと思った。また来たい。（市外、10代女性）

担当者コメント
シリーズ4回目となり、事業が定着してきた中で、初めて絵本作品に挑戦した。ロングセラー名作をチョイスしたことで親子で楽しんでほしいという目的のもとで実施したが、ねらいどおり親子での来場が非常に多かった。早々に完売となり、提供できない人も多くあったが、次回に期待してほしい。絵本原作だが、絵を見せない、朗読と音楽と照明だけで実施したことでより想像力を働かせることができる事業となった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	T-works#5 三文姉妹		
日時	令和5年2月4日（土） 令和5年2月5日（日）	①14時00分開演、②18時00分開演 ③14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	丹下真寿美（T-works） 是常裕美（シバイシマイ） 原田樹里（演劇集団キャラメルボックス）		
公演内容	三文姉妹 脚本：久馬歩 演出：チャーハン・ラモーン		
入場者数	111	入場率	20.8%
チケット料金	（前売）S席：一般4,800円、フレンズ4,300円、 A席：一般3,800円、フレンズ3,300円、U-18 2,500円 （当日）S席：一般4,800円、A席：一般3,800円、U-18 2,500円		
支出	提携事業のため支出なし 計 0円		
収入	提携事業のため収入なし 計 0円		
回収率			
アンケート結果	<p>最初は三姉妹がどうなっているのかわからなくて戸惑ったが、わかってくると三姉妹の言葉がすべて切なくて悲しくて愛しくて抱きしめたくなくなった。</p> <p>俳優力が高い皆さんなので、ストレートな物語も観たい。今回は物語の背景を理解することに意識の多くを費やしてしまい、三人への感情移入が不明瞭になってしまった。</p> <p>キャラメルが好きで岐阜から伺ったのですが、行ってよかったです。パンフ買い忘れ後悔しました。いい日にしてくれてありがとう。</p> <p>※劇団側アンケートのため年齢等不詳</p>		
担当者コメント	<p>関西を拠点に活躍する劇団であるT-worksの作品はオリジナリティに溢れた創作性の高いものであった。普段文化の家を訪れている人に加え、新しい客層へのアプローチにつながったと感じる。内容は、演劇初心者でも分かりやすい話の構成でありながら、途中で本当の設定があきらかになるといった内容で、観客の反応も良かった。しかし、関西を拠点に活躍する団体ということもあり、愛知での知名度は低く、観客が少なかったのは残念である。次回、こういった機会がある時は、ワークショップで、まずは劇団のことを知ってもらう活動が必要なのではと感じた。</p>		

公演名	JAZZ長久手～やっぱりジャズはイイ！		
日時	令和5年2月10日（金）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	RS5pb (RUIKE SHINPEI 5 piece band) 類家心平（トランペット）、中嶋錠二（ピアノ）、田中”tak”拓也（ギター）、鉄井孝司（ウッドベース）、吉岡大輔（ドラム）		
公演内容	DADA、VAIDA、DANU、DEAR、IO、SOMA、AMBER GRIS、CIVET ENC.ZERO ZERO		
入場者数	204	入場率	87.2%
チケット料金	（前売）フレンズ会員2,200円、一般2,500円、学生1,500円 （当日）一般2,500円、学生1,500円		
支出	委託費	699,880円	
	宣伝料（チラシ・看板）	99,000円	
	ピアノ調律手数料	49,500円	
	著作権使用料	16,475円	
	計	864,855円	
収入	入場料	513,200円	
	（補助金）文化庁助成金	421,000円	
	計	934,200円	
回収率	108.0%		

アンケート結果
 今までのJAZZ長久手で最もハードで、ロックのようだった。自分はハードロックが好きなのでとてもよかった。（市外、60代男性）
 聴衆の年齢層が高いのに、スタンダードではなくても皆が楽しんでいることに驚いた。（市外、50代男性）
 疾走感あふれるプレイはすっきり！（市外、70代男性）

担当者コメント
 2013年から実施しているJAZZ長久手。毎年名だたるジャズプレイヤーを迎え、本格的なジャズが気軽に楽しめる公演として好評を得てきた。今回はジャズトランペット奏者類家心平氏が率いるRS5pbが長久手に登場した。同バンドはジャズバンドではあるものの、ジャンルにとらわれないオリジナル楽曲を多数生み出している。本公演でもオリジナル楽曲が演奏された。広く知られた楽曲がほぼない公演となったが、新しい疾走感あふれる音楽に来場者からは好意的な感想が多く見られた。JAZZ長久手シリーズの新しい10年の幕開けを予感させるようなライブとなった。



公演名	午後の佇み2022③～ジャズとクラシックのあいだ		
日時	令和5年2月17日（金）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	平光真弥（ヴァイオリン）、平光広太郎（ピアノ）		
公演内容	イントロダクション（枯葉～いつか王子様が）、Donna Lee（C.パーカー）、無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番よりアルマンド（J.S.バッハ／ヴァイオリンソロ）、Timer（平光広太郎／ピアノソロ）、Children's Song no.1（C.コリア）、亡き王女のためのパヴァーヌ（M.ラヴェル）、アランフェス協奏曲～スペイン（C.コリア）、enc.トンプー（東風）		
入場者数	148	入場率	79.1%
チケット料金	（前売）フレンズ会員・一般1,000円 （当日）一般1,000円		
支出	委託費	160,000円	
	ピアノ調律手数料	22,000円	
	チラシ印刷費（5,000部）	14,242円	
	著作権使用料	1,595円	
	計	196,242円	
収入	入場料	155,936円	
	（補助金）文化庁助成金	88,000円	
	計	243,936円	
回収率	124.3%		


アンケート結果 「あいだ」をよい意味で感じなかった。（市外、70代女性）
 解説があったから、音楽の世界により引き込まれた。（市外、20代女性）
 スペインが圧巻だった。熱量が大きい演奏会だった。（市外、60代男性）

担当者
コメント

平日の昼間に気軽に来られるコンサートシリーズとして開催している午後の佇みシリーズ。今回は、ジャズピアニストの平光広太郎氏とクラシックヴァイオリン奏者の平光真弥氏が出演。2人による公演は、2021年度に無料コンサートとして開催し、好評であったことから、ホール公演開催となった。公演に向け打ち合わせやリハーサルを重ね、ジャズミュージシャンである広太郎氏にとっては、クラシック楽曲やクラシック奏者の音楽の作り方に触れる機会となった。また、楽譜が演奏の基本となるクラシック奏者の真弥氏は、リハーサルのたびに繰り出される全く異なった音楽に大きな刺激を受けていた。異なるジャンルの奏者による演奏とは思えないほど、息の合ったコンビネーションを披露した。公演が進むにつれ、2人の熱量は次第に大きくなり、アンコール曲では観客が圧倒されるほど情熱的な演奏となった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute 第24 回定期演奏会		
日時	令和5年2月19日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業（提携）	配信	なし
出演者	山本高栄（指揮）、野々山雅子（ピアノ） 長久手市合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute（合唱）		
公演内容	呼びかわす言葉たち～無伴奏混声合唱のための2つのエチュード～/信長貴富作曲 混声合唱のための宮崎駿アニメ映画音楽より/信長貴富編曲 みるく世がやゆら/知念捷作詞、萩京子作曲 新しい人に/大江健三郎作詞、信長貴富編曲 夕焼け/高田敏子作詞、信長貴富編曲		
入場者数	444	入場率	66.7%
チケット料金	（前売）フレンズ会員800円、一般1,000円 （当日）フレンズ会員800円、一般1,000円		
支出			提携事業のため支出なし
		計	0円
収入			提携事業のため収入なし
		計	0円
回収率			
アンケート結果	<p>中盤の「さんぼ」あたりから泣いてしまった。6年合唱をやっているが、ここ最近こんなに皆様のよう に純粋に楽しんで歌えていなかった気がした。（失礼ですが）自分より一まわり近く歳上の方々が楽 しそうに歌っているのを見て、とても心打たれた。（市内、20代女性）</p> <p>心を込めて歌っていて、その気持ちが穏やかに温かく伝わってきた。歌詞カードがあるとちょっと嬉 しい。（市内、60代女性）</p> <p>部員募集に納得。素晴らしい歌声が倍增する、迫力ある演奏を聴かせていただきたい。好期待しま す。（市外、50代男性）</p>		
担当者 コメント	<p>コロナ禍のため団員が半分近くに減り、楽曲選定など苦労 していたが、それぞれ団員が楽しもうという気持ちで続 け、市内で行われた様々なイベントにも参加していた。今 回の公演ではジブリの曲や童謡など聴きやすいものになっ ていたため、観客からも称賛の声が多く聞かれた。</p>		

公演名	東京デスロック「再生」劇団+長久手バージョン		
日時	令和5年2月25日（土）	①13時00分開演、②17時00分開演	
	令和5年2月26日（日）	③13時00分開演、④17時00分開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	<p><劇団Ver.>夏目 慎也、佐山 和泉、原田 つむぎ、松崎 義邦（以上 東京デスロック）、岡田 智代、波佐谷 聡、田中 美希恵</p> <p><長久手Ver>岩田 千鶴 (gateau au fromage)、太田 竜次郎 (劇団エンジン)、小川 敦子、高木 梨帆、田坂 歩、手代木 花野、福田 健人</p>		
公演内容	<p>30分の演目を3回繰り返す特異な構造で演劇上演の常識を覆した作品。長久手市初上陸となる東京デスロックが、地元出演者をオーディションで選出して実施する。</p> <p>「再生」劇団+長久手バージョン 作・演出：多田淳之介</p>		
入場者数	355	入場率	74.0%
チケット料金	<p>劇団Ver.：一般・フレンズ会員3,000円、学生1,500円</p> <p>長久手Ver.：一般・フレンズ会員2,000円、学生1,000円</p> <p>セット：一般・フレンズ会員4,000円、学生2,000円</p>		
支出	公演料	2,070,000円	
	その他諸経費	1,730,000円	
	計	3,800,000円	
収入	入場料	698,500円	
	瀬戸信用金庫地域振興協力基金	500,000円	
	地域創造文化芸術活動助成金	1,900,000円	
	計	3,098,500円	
回収率	81.5%		
アンケート結果	<p>今年度最大の衝撃と感動。シャボン玉が輝いて消えていくシーンは鳥肌もの。素晴らしいクリエイションに拍手。（市外、40代女性）</p> <p>素晴らしかった。死ぬことへの恐怖、生への諦め、不思議な仲間意識などを感じられた。（市外、50代男性）</p> <p>最初から最後まで人の命の輝く瞬間を感じた。本当に素晴らしいものを見せてくれた。（県外、20代女性）</p>		
担当者コメント	<p>地域の演劇の活性化を目的に実施。各現地にてオーディションを行い、2週間の滞在制作を行うことは、地元演劇界でも注目を集めた。本番は大盛況で、4回のカーテンコールがあったり、SNS上でも様々なコメントが行き交うなどの賑わいを見せた。一方で、同日中に現地バージョンと劇団バージョンをやることから、セット券をもうけたが、チケット対応が煩雑になった問題があったため、今後どのようにしていくかを考えていく必要がある。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名 弓立翔哉パーカッションリサイタル

日 時 令和5年3月4日（土） 18時30分 開演

場 所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携） 配信 後日配信のみ

出演者 弓立翔哉（創造スタッフ）、内田一晟、上村笑穂、亀山佳音、稲垣佑馬、小田智之（創造スタッフ）

公演内容 Surprise（Tim & Tom Ouderits）、Asventuras for Solo Snare Drum（Alexej Gerassimez）、Planet Damnation（John Psathas）、NEON（弓立翔哉&小田智之）、Salamanca（Pace Percussion Trio）、Everybody do this（James Saunders）、Stop Speaking（Andy Akiho）、Musique de Tables（Thierry De Mey）、Pillar VII（Andy Akiho）

入 場 者 数 234 入場率 66.8%

チケット料金 （前売）フレンズ会員1,500円
（当日）フレンズ会員2,000円、一般2,000円、高校生以下500円

支 出 提携事業のため支出なし
計 0円

収 入 提携事業のため収入なし
計 0円

回 収 率

アンケート結果 感動して開いた口が塞がりませんでした！！（10代女性）
打楽器の楽しさを味わえた（50代男性）
打楽器のコンサート初です。様々な演奏法を知りました。楽しい時間をありがとうございました。（50代女性）

担当者
コメント

弓立翔哉氏は、創造スタッフとして4年にわたり文化の家で活動してきた打楽器奏者。弓立氏の集大成コンサートにふさわしい濃厚かつ誰もが楽しめるような内容のコンサートとなった。弓立氏が構築してきた人間関係や人柄が表出された内容となった。5人の共演者と共にレベルの高い演奏会であった。アンケートからも満足度が高いコンサートとなったことがうかがえた。



名演への招待シリーズ20

公演名 バトリツィア・コパチンスカヤ ヴァイオリン・リサイタル
with ヨーナス・アホネン

日時 令和5年3月14日（火） 19時00分 開演

場所 長久手市文化の家 森のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業 配信 なし

出演者 バトリツィア・コパチンスカヤ（ヴァイオリン）、ヨーナス・アホネン（ピアノ）

公演内容 幻想曲 作品47（A.シェーンベルク）、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調 作品30-2（L.v.ベートーヴェン）、4つの小品 作品7（A.ウェーベルン）、ヴァイオリン・ソナタ第9番イ長調作品47〈クロイツェル〉（L.v.ベートーヴェン）

入場者数 358 入場率 70.3%

チケット料金 （前売）フレンズ会員4,500円、一般5,000円、学生2,500円
（当日）一般5,000円、学生2,500円

支 出	委託費	2,950,000円
	広告費（チラシ、情報誌、看板）	126,148円
	調律費	38,500円
	著作権料	7,040円
	計	3,121,688円
収 入	入場料	1,582,500円
	文化庁補助金	1,553,850円
	計	3,136,350円

回収率 100.5%

アンケート結果
非常に新時代を感じさせる衝撃的な演奏だった。演奏も完璧で、ピアノ伴奏も素晴らしかった。このような演奏会を企画してくれた文化の家に感謝とともに誇りに思う。（市内、男性70代）
近くの席の小学生の女の子が身を乗り出し、立ち上がって熱中していた。ベートーヴェンのソナタで！こんな光景をクラシックのコンサートで見ることがあろうとは！生きる喜び音となって、あふれ出る。前代未聞のリサイタル。（県内、男性50代）
はだしで、ふみしめた足音まで聞こえる近さ、音のよさ、とてもよかった。ピアニストのアホネンさん、ときどき笑っていた。生きている音楽だった。（市外、女性50代）

担当者
コメント
名演シリーズの記念すべき第20回目として、現在世界中で話題になっているヴァイオリニスト、バトリツィア・コパチンスカヤを招聘した。東京や大阪などの主要なホールと並んでの長久手公演となった。彼女は従来のクラシック音楽界の常識を覆すような強烈な演奏で知られており、一度生で聴いてみたいとの声も多く、演奏会の前からSNSでも非常に話題になった。内容も非常に充実しており、言葉にできない衝撃にふれたとの声も多数いただいた。



公演名	長久手市劇団座☆NAGAKUTE 第34回公演「風立ちぬ」		
日時	令和5年3月18日（土） 令和5年3月19日（日）	①14時00分開演、②19時00分開演 ③14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	劇団座☆NAGAKUTE団員		
公演内容	「風立ちぬ」 作：竹内銃一郎 演出：佃典彦		
入場者数	381	入場率	84.7%
チケット料金	(前売) フレンズ会員・一般1,500円、高校生以下1,000円 (当日) フレンズ会員・一般1,500円、高校生以下1,000円		
支出			
	育成指導料		765,000円
	演出料		250,000円
	照明委託		360,000円
	舞台美術委託		500,000円
	音響委託		240,000円
	舞台監督委託		160,000円
	衣装製作委託		300,000円
	計		2,575,000円
収入		入場料	572,500円
		(補助金) 文化庁助成金	1,362,520円
		計	1,935,020円
回収率			75.1%
アンケート結果	<p>今日の幸せは、明日の幸せとは限らない。今の幸せを大切にしたい。(市外、50代男性)</p> <p>おもしろい役がたくさんあって良かった。たくさん笑った。(市内、10代女性)</p> <p>この時代に合った物語だった。脚本を最初に読んだが、舞台にすることでこう完成するのかと思った。(市内、30代女性)</p>		
担当者コメント	<p>本公演では、コロナウイルス感染拡大防止措置が緩和されたこともあったからか、来場者数が通常時とほぼ同等となった。また、公演後のグリーティングも復活し、「どのような気持ちで演技を行ったのか」等の来場者からの質問に答えるなどして、多くのお客様とのふれあいが実現。有名俳優とは違う、座☆NAGAKUTEの座員ならではの身近な親しみやすさから、演劇の魅力を伝えることができた。</p> <p>また、これらの経験により、座員の出演者としての成長が多く見られた。今後は、多くのアウトリーチを行っていき、座員の成長を促すだけでなく、多くの市民に演劇の魅力を伝えていきたいと考えている。</p>		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名 クーテシガーナキッズダンス隊第11期生発表会

日 時 令和5年3月30日（木） 14時00分 開演

場 所 長久手市文化の家 風のホール

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携） 配信 なし

出演者 クーテシガーナキッズダンス隊、リトル隊、OB隊、パパママ隊、峯いずみ（講師）、林友里菜（文化の家舞踊系創造スタッフ）

公演内容 クーテシガーナ、ねこバス、ルージュの伝言、アシタカせっ記、千と千尋の神隠し、Don't Stop Me Now、ONE
選曲・振付：峯いずみ

入 場 者 数 273 入場率 95.1%

チケット料金 無料

支 出 提携事業のため支出なし
計 0円

収 入 提携事業のため収入なし
計 0円

回 収 率

アンケート結果 子ども達のエネルギーをたくさんもらってこっちまで元気もらった。それをサポートする大人や先生達の熱意、一体感を感じた。来てよかった。（市外、20代男性）
子どもたちのダンス、とてもかわいかった。演出もセリフも全て素敵で感動した。（市内、20代女性）
キッズ隊の進化が感じられてすばらしかった。長久手の長久手らしいつながりのあり方を示しているのではないか。文化の家の手を離れてもがんばっている姿をもっと皆さんに知ってもらいたいと思った。（市内、60代女性）

担当者 キッズ隊の理念は「子どもの健全育成」。これまでも、様々なことにチャレンジすることで絆を深めていきながら、理念を叶えてきた。満席となったこの公演。令和4年11月にジブリパークが市内でオープンしたことを記念にジブリ作品である「千と千尋の神隠し」の演技を取り入れた内容となった。ダンス以外での公演は初の試みであったにもかかわらず、ダンスと組み合わせた演出に観客はとても満足していた。これからの活躍に期待大である。

コメント



2 企画展示

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手インクルーシブアート展		
日時	令和4年5月18日（水）～29日（日）	10:00～19:00（最終日は17:00まで）	
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	普及・啓発事業		
参加アーティスト	山本良比古、磯崎亮、川上建次、早川拓馬、奥亀屋一慶 他		
公演内容	長久手市インクルーシブアート展		
入場者数	472		
支出	ワークショップ等委託費	50,000円	
	キュレーション委託	50,000円	
	作品提供協力費	55,000円	
	印刷製本費	13,621円	
	計	168,621円	
収入	入場料	0円	
	計	0円	
回収率	0.0%		

今回はとってもいい機会だったと思う。皆さん才能をもっている方ばかりだが、披露する場が少ないことが課題だったので、今後も続けてほしい。（市外、20代女性）

アンケート結果 障がいを持つ人も健常者も一緒に作り合った展示に感銘を受けた。表現する事の喜びが伝わってきた。（市内、60代男性）

すごい絵がかざってあった。自分の絵もかざってあってうれしかった。（市内、9歳以下、女性）

担当者コメント

長久手市初開催のインクルーシブアート展。社会包摂（ソーシャル・インクルージョン）を文化の家らしく、「アート」で表現することを目的とした展示である。出展作品については、国内各地で展示された経験のある作家の作品を展示したほか、長久手市内の福祉事業所に通所している方々からも作品の提供をしてもらい、身近にも素晴らしい作家がいることを紹介した。また、老若男女関係なく作られた「ありがとうの花」を壁一面に展示することにより、誰一人取り残さない世界、みんなが一緒の世界で生きている（ソーシャル・インクルージョン）という事を表現した。この展覧会により、まだなかなか知られていない分野のアートを市民に届けるとともに、多文化共生社会について、市民に今一度考える機会となったと。入場者数も比較的多かったため、今後もこのような展覧会を計画していきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 眠る美術博覧会

日時 令和4年7月30日(土)～8月14日(日) 10:00～17:00

場所 長久手市文化の家 展示室

事業の種類 市民参画事業

参加
アーティスト 一般市民から公募した、所有する芸術作品15点

公演内容 市民が様々な場面で購入した美術作品を、購入したエピソードを添えて作品を募集し、文化の家で展示する。

入場者数 551

支 出	作品搬入・展示補助	20,000円
	展示物案内管理	123,799円
	計	143,799円

収 入	入場料	0円
	計	0円

回収率 0.0%

アンケート結果 とても素晴らしい企画だ。作家と所有者とのストーリーを知りながら作品を見るのは、ただ作品を見るよりもかなり深みを感じた。（県内、40代男性）


キャプションに書いてある内容がとても個性的で面白かった。作品とエピソードで2度楽しめた。（県外、20代女性）

皆さんそれぞれのエピソードがありそれを読んでから絵を見ると、何もなく絵を見るのとは全く違って伝わってくるものがあった。（市内、50代男性）

担当者
コメント 芸術作品を生活の中に取り入れるきっかけを知り、来場者自らが芸術作品を購入することに繋がることで、市民の文化に対する質の向上を目的に初開催した。一般市民が所有する芸術作品を募集し、15点が集まった。購入したエピソードを読んでもらうという、企画自体がとても好評で、次回開催を希望する声も多かった。作品募集や広報に苦労したことと、高額作品の盗難等を心配する声もあったため、価格に囚われないストーリー性が重要であることを、もっと伝えたかった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	国際芸術祭「あいち2022」連携事業 「あいち2022」ポップ・アップ！		
日時	令和4年9月2日(金)～9月4日(日)	9:00～19:00 (一部作品は22:00まで)	
場所	長久手市文化の家 展示室、ギャラリー、多目的室		
事業の種類	アートのまち創造事業（提携）		
参加アーティスト	遠藤薫、小杉大介、黒田大スケ、升山和明、尾花賢一、カズ・オオシロ、塩田千春、和合亮一、渡辺篤（アトムヒアプロジェクト）、イー・イラン、横野明日香		
公演内容	「寺内信一ドライブねこまんま」「寺内信一のためのプラクティス」「ギャラリートラック常滑」（黒田大スケ）、「《SILVER FISH》長編詩「詩の礫 2022」より」（和合亮一）、「いつかくる日」「CHAPTER 1」（尾花賢一）、「somewhere」「ダム建設」（横野明日香）、「火炎瓶／コーラ／沖縄／1945」（遠藤薫）、「無題、H鋼（2パーツ）」「サン・スタジオリードアンプII」（カズ・オオシロ）、「修復のモニュメント「病院」」（渡辺篤（アトムヒアプロジェクト））、「パンキス」（イー・イラン）、「SHIMIZUYA WHITE」「SHIMIZUYA PAPER CRAFT」（升山和明）、「Cell」（塩田千春）、「異なる力点」（小杉大介）		
入場者数	922		
支出	展示物管理案内業務		90,136円
	広報折込手数料		85,833円
	計		175,969円
収入	入場料		0円
	計		0円
回収率	—		
アンケート結果	<p>”アート”を身近に感じることができた。（市外、20代女性）</p> <p>長久手文化の家のギャラリーと、展示内容の相性が良かった。（市内、50代男性）</p> <p>長久手に来てもらえて本当に嬉しい。2階のアートショップやワークショップもすばらしかった。（市内、20代女性）</p>		
担当者コメント	<p>愛知県内の芸術祭会場以外の市町村で現代美術の振興を図り、多様な価値観や世界の見方をしってもらうため、国際芸術祭あいち組織委員会と長久手市が共催で行った。世界的に有名なアーティストの作品が展示されたことにより、非常に多くの来場者があった。また、ART SHOPを同時開催したことにより、館内全体がアートにあふれる3日間となった。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 長久手市文化の家×愛知県立芸術大学 ART SHOP

日時 令和4年9月2日（金）～9月4日（日） 10:00～17:00

場所 長久手市文化の家2階 パブリックスペース

事業の種類 アートのまち創造事業

参加アーティスト 愛知県立芸術大学美術学部19名・音楽学部1名（出展・販売）、橋寛憲（出展・販売・WS）、高野葵（出展・販売・WS）、sabokan（WS）

公演内容 愛知県立芸術大学の協力により、今回が初めての試み。教授陣推薦の学生や卒業生達の作品を販売する他、ワークショップも開催。作品を作り、価格を決め、プロと並んで作品を販売する。未来のプロのアーティストのもう一つの学びの場として企画。

入場者数 約1,000

支出	委託費	165,000円
	印刷製本費	15,450円
	計	180,450円

収入	入場料	0円
	WS料14名分	14,000円
	WS料10名分	7,000円
	計	21,000円

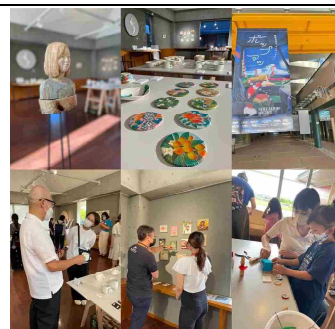
回収率 —

アンケート結果 お客さまと直に接することで、普段聞くことができない新鮮な意見を得ることが出来た。（出展学生）

梱包の仕方・価格設定が難しかったが、学びとなった。（出展学生）

ころころオブジェを作ったり、デジタルの似顔絵も描いてもらって、すごく楽しかった。またやっていただきたい。（来場者、市内女性）

担当者コメント 国際芸術祭との相乗効果で、おおよそ1,000人の来場があり、3日間で48万4,100円の売上となった（売上は100%作者に還元）。アーティストの創造活動が市民の暮らしの質を向上させるとともに、市民の芸術に対する関心や理解がアーティストの活動を支えるなど互いの交流が発展する場となるよう期待する。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名 創造スタッフ企画展
展観するダンス

日 時 令和4年10月4日（火）～10月16日（日） 10:00～19:00
(最終日は17:00まで)

場 所 長久手市文化の家 展示室

事業の種類 アートのまち創造事業

参加
アーティスト 林友里菜（舞踊系創造スタッフ）、小西祐矢（美術系創造スタッフ）

公 演 内 容 ダンサーの視点や思考を展示する。
展のエリア・観のエリアからなる。

入 場 者 数 991

支 出	印刷製本費	12,869円
	計	12,869円

収 入	入場料	0円
	計	0円

回 収 率 —

アンケート結果
 ダンスを展示するというアイデアgood。（市内、70代男性）
 ダンスは苦手意識が強いけど、優しく身近なものとして感じられて嬉しかった。（市外、40代男性）
 何回リピートしたかわからないが、「観」エリア、ずっと立っていたくなった。（市内、30代女性）

担当者
コメント
 美術系創造スタッフの小西氏による発案で、ダンスを展示するという新しい試みを行った。展示室の空間を2つに区切り、映像によるダンサーの視点や、言葉によるダンサーの思考を展示するおもしろい内容となった。来場者がコメントを書いて増やしていくようなスペースもあり、見に来た人が展示に参加できる要素もあった。なお、今回監視員をおかず、無人での展示としたが、大きな問題もなく終えることができた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 アンデゴハンダン展

日時 令和5年1月21日（土）～29日（日） 10:00～19:00
（最終日は17:00まで）

場所 長久手市文化の家 展示室

事業の種類 市民参画事業

参加アーティスト 長久手市在住、在勤、在学の人を対象にテーマを設けず、絵画（油彩画・水彩画・アクリル画・日本画等）を募集。

公演内容 長久手市在住、在勤、在学の方を対象にテーマを設けず、絵画（油彩画・水彩画・アクリル画・日本画等）を募集する。作品の優劣をつけず、自由出品・無記名・無審査・無賞で、応募のあった作品を展示し、来場者からの投票により反響のあった作品に記念品を贈呈する。

入場者数 449

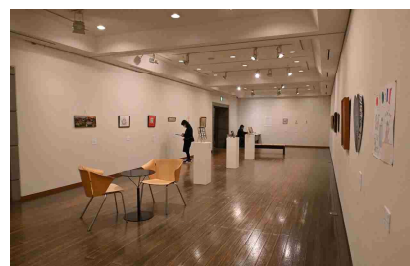
支 出	展示物管理委託	70,106円
	印刷製本費	19,015円
	お米券購入費	25,000円
	計	95,106円

収 入	入場料	0円
	計	0円

回収率 —

アンケート結果
 かわいい子どもたちの絵もあり、ほっこりした（市外、年代なし）
 私も出品したいです。次年度には出品するのでよろしく（市内、年代なし）
 出展作品数が少なすぎる。場所が足りないようなら他にも場所を（市外、年代なし）
 上手い、下手にとらわれずに、描きたいものをかくっていいですね（市内、年代なし）

担当者コメント
 出展者には誰でも絵を描ける楽しさと、来場者には評価にとらわれない自由な絵の楽しみを提供することができた。子どもの作品もいくつか出品され、来場者の目を楽しませていた。上手い下手の基準ではなく、来場者の気持ちを汲む、感覚的な投票要素を取り入れたことで、出展者も来場者からの直接の意見をもらう場ともなり概ね好評であった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名
創造スタッフ企画展
NEONの世界

日 時 令和5年2月19日（日）～26日（日）9:00～19:00
(最終日は17:00まで)

場 所 長久手市文化の家 展示室

事業の種類 市民参画事業

参加
アーティスト 小西祐矢（美術系創造スタッフ）、高野葵（美術系創造スタッフ）

公演内容 令和4年12月24日に上演した創造スタッフ劇場「NEON」。美術系創造スタッフの小西祐矢と高野葵が手がけた舞台美術、小道具、衣装などを展示する。舞台美術の他、舞台設定資料なども公開し、NEONの世界観にどっぷり浸れる没入型美術展示である。

入場者数 1003

支 出	印刷製本費	35,327円
	計	35,327円

収 入	入場料	0円
	計	0円

回 収 率 —

アンケート結果 てんじはとてもおもしろくて、いしょうもとてもキレイだった。（9歳以下、女性）
 大道具まで、すごくこだわって、NEONの世界が表われ、とても良かった。（50代、男性）
 遠くから見ていても華やかだったセット達を真近で見れる機会はとても嬉しい。（30代、女性）

担当者
コメント

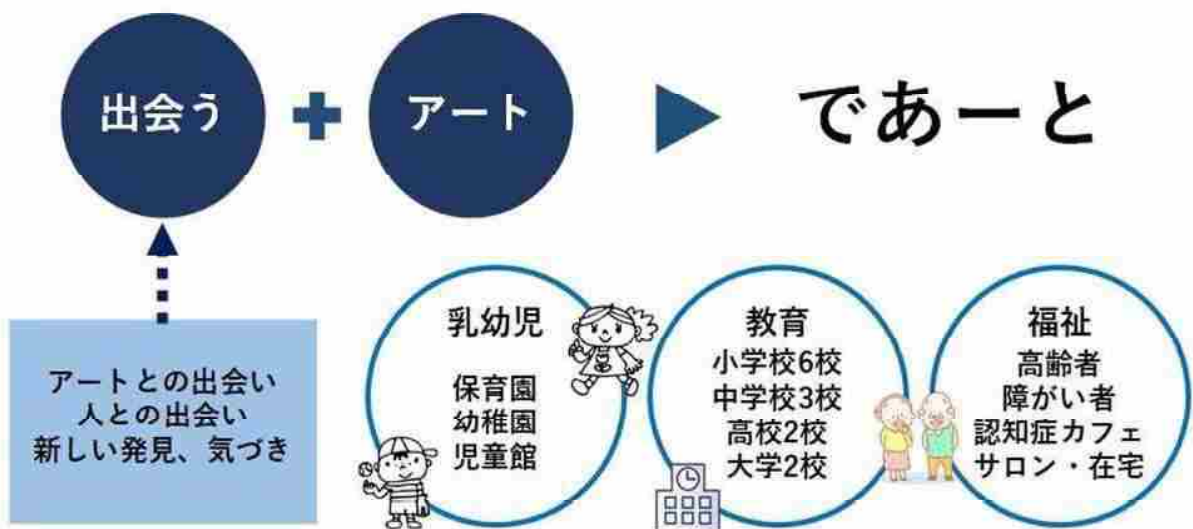
創造スタッフ劇場「NEON」で使用された舞台美術は、すべて美術系創造スタッフが制作している。本展覧会ではこうした細かな点まで作りこまれた舞台美術を、間近で見ることができ、公演では描かれなかったストーリーの背景や世界設定まで展示され、公演を見た人もそうでない人も楽しんで見ることができる展覧会となった。単純な舞台美術作品展示ではなく、没入感を大切に、展覧会自体がひとつの企画作品となっていた。



3 普及啓発事業

長久手市文化の家では、次世代を担う子どもを始め、生の舞台公演や芸術作品をあまり鑑賞しない市民、都市部まで足を運ぶことが困難な高齢者など、文化芸術に触れることが少ない市民を対象に、文化の家で公演や展示を行ったり、市内各地に出向いたりして普及啓発事業を行っています。

長久手市文化の家アウトリーチ事業



公演名	中学校であーと（長久手中学校）		
日時	令和4年6月2日（木）、8日（水）		
場所	長久手市立長久手中学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	福本真琴（チェロ）、福本真弓（ピアノ）		
公演内容	ジュリー・オー（マーク・サマー）、ユーモレスク（ドヴォルザーク）、チェロとピアノのためのソナタ第3番第1楽章（ベートーヴェン）、華麗なる序奏とポロネーズ（ショパン）		
入場者数	146	（長久手中学校1年生5クラス対象）	
支出	委託費		80,000円
	計		80,000円
収入	文化庁補助金		50,000円
	計		50,000円
回収率			62.5%

アンケート結果

チェロのみでも演奏できると知り、こんなに綺麗な音が出るとは思わなかった。新しい楽器の魅力を知れてよかった。（生徒）

二人とも長久手中学校の卒業生でびっくりした。（生徒）

生演奏はすごくいい。（生徒）

曲を体でも表現しているということに気づいた。（生徒）

音楽には、どんな人でも感動させる力がある。（生徒）

チェロがデカかった。（生徒）

チェロを触り、響きを感じたようで、『すごいことしちゃった!』という興奮した顔をしていたのが印象的だった。（教員・1年生学級担任）


担当者コメント

であーとは、文化の家に関わりのあるアーティストたちが、市内中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。長久手中学校公演には、昨年度に引き続き、福本真琴、真弓姉妹が出演。昨年度よりも本格的な楽曲が多いプログラムとなった。MCに子どもに身近なキーワード（校歌、先生の名前等）を多く入れ、子どもたちが楽器に触れる場面を作る等、演奏者をより身近に感じ、理解を深める工夫がされていた。

感染症対策及び、出演者のキャラクターを考慮した結果、1クラスずつ音楽室での実施となったが、2日間開催となり、演奏者に負担が大きい状況である。来年度以降、実施方法について再検討したい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市男女共同参画事業2022（たつせがある課との連携事業） 「歌と時代と男と女～曲が時代を作ったか、時代が曲を作ったか」		
日時	令和4年6月23日（木）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	小室敬幸（講師） 弓立翔哉、小田智之（音楽系創造スタッフ） ヒラウチマイ（ヴォーカル） 長津結一郎（プレ公演講師）		
公演内容	<p>レクチャー&コンサート（レクチャーの合間に曲を挟む）</p> <p>前半：カチューシャの唄、東京ブギウギ、お祭りマンボ、ブルーライト・ヨコハマ、赤いスイートピー、プレイバックPart II、関白宣言（昭和の歌謡曲）</p> <p>後半：ラブストーリーは突然に、夏が来る、Can you celebrate、Automatic、恋、夜に駆ける（平成、令和のポップス）</p> <p>※開演前にプレ公演あり。プレ公演の内容は男女の社会での立場が時代の流れとともに変化してきたこと、現代が目指す社会のこと、音楽や歌詞を通すことで世代間の相互理解が生まれることなどについての講演</p>		
入場者数	213	入場率 71.5%	
チケット料金	無料		
支出	委託費	60,000円	
	演奏報酬	25,000円	
	印刷製本費	18,539円	
	音楽著作権料	2,750円	
	計	106,289円	
収入	入場料	0円	
	計	0円	
回収率	0.0%		
アンケート結果	<p>音楽を通して、男女参画の思い伝わってきた。企画良かった。（市外、70代女性）</p> <p>男女共同参画を音楽と結びつける発想がお見事だった。（市内、50代女性）</p> <p>創造スタッフが楽しそうに魅力的な演奏をして下さり、楽しかったし感動した。（市内、30代男性）</p>		
担当者コメント	<p>男女共同参画週間の啓発事業として開催したが、単なる啓発公演ではなく、音楽を楽しみながら自然と男女のことについて考えるような企画とした。男女の考え方に関するプレ公演、歌詞を扱った小室氏による講演、実際の歌の演奏という3本立てとしたが、非常に好評で、次回開催も期待される内容となった。今回はたつせがある課とも連携して開催したが、今後はより密に連携をとりながら、共同での企画をしていきたい。</p>		

公演名	中学校であーと（北中学校）		
日時	令和4年6月28日（火）		
場所	長久手市立北中学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	小松大（フィドル）、長尾晃司（ギター）		
公演内容	1.Sonny Brogan's - Both Meat & drink - Man on the House 2. Ennistymon - Donnybrook fair 3. Bluemont Waltz - Sweetness of Mary 4. First Pint(Jig) - Lady Montgomery - Matt Peoples- Mountain Top 5. Letter to Barcelona - Waltz 6. Polka: Julia Clifford D - Four Shaves/ - John Bronsna's		
入場者数	230	（中学1年生8クラス）	
支出	委託費		120,000円
	計		120,000円
収入	文化庁補助金		50,000円
	計		50,000円
回収率			41.7%

アンケート結果

足踏みをしてリズムをとっていることが印象に残った。（生徒）
 バイオリンは上品な感じだと思っていたけれど、リズムカルでノリノリだった。（生徒）
 「拍手してね」や「話しながら聞いてもいいよ」という事を言うてくれて、リラックスしながら楽しく音楽を聞くことができた。（生徒）
 ケルト音楽が大好きだから、聴けてとても嬉しかった。（生徒）
 最初は、楽しくなさそうと思っていたけれど、とても楽しかった。（生徒）

担当者
コメント

であーとは、文化の家に関わりのあるアーティストたちが市内中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。北中学校公演には、愛知県立芸術大学出身のフィドル奏者、小松大氏が率いるデュオが登場。アイリッシュ音楽を題材に、演奏者自身の人生と音楽の関わり合いを子どもたちに語りかけた。子どもたちは、日常生活の中にアイリッシュ音楽があふれていることに気づき、様々な人生観に触れることができた。昼休みには、アトリウム（中庭）でミニコンサートを行い、全校生徒が演奏を楽しんだ。



公演名	中学校であーと（南中学校）		
日時	令和4年7月7日（木）		
場所	長久手市立南中学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	平光広太郎（ピアノ）、早川ふみ（サクソ）、出宮寛之（ベース）		
公演内容	Strasbergst Denis,C jam blues,星メドレー（Star crossed lovers～So many stars～星に願いを）,Take the A train		
入場者数	306	中学1年生9クラス	
支出	委託費		100,000円
	計		100,000円
収入	文化庁補助金		50,000円
	計		50,000円
回収率			50.0%

アンケート結果

ほとんどがアドリブで会話のように本番で合わせていることがわかった。（生徒）
 今まで見てきた演奏はクラシックばかりだったので、ジャズはカッコイイと感じた。（生徒）
 ピアノはクラシックを弾くイメージだったけどジャズも弾くことに驚いた。（生徒）
 よく聞くのはほぼJ-POPだけど、他のジャンルの音楽にも挑戦してみたいと思った。（生徒）
 スウィングで、リズムが急激に変わり、一気にジャズらしくなったのが驚いた。（生徒）
 とても素敵な曲ばかりで、家でもJAZZを調べて聴いてみたいと思った。（生徒）
 ジャズについて興味を持ち、検索したり、お互いに語り合ったりしていた。（教員）

担当者
コメント

であーとは、文化の家に関わりのあるアーティストたちが、市内中学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。南中学校公演には、東郷町出身で東海圏を中心に活躍する平光広太郎（ピアノ）率いるジャズトリオが出演。音楽を構成する要素やアドリブの醍醐味を解説しながら、プログラムを進めたため、初めてジャズを聴く生徒でも楽しめる構成となった。終了後にジャズについて調べ、音源を聴いてみた生徒が複数あったことから、子どもたちに新しい出会いの場を提供できたようだ。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 「夜の実験室～ヴァイオリンとヴィオラの夏の宵」

日時 令和4年8月2日（火） 19時00分 開演

場所 長久手市文化の家 情報ラウンジ

事業の種類 普及・啓発事業

出演者 平光真弥（ヴァイオリン）、二川理嘉（ヴァイオリン）、新谷歌（ヴィオラ）

公演内容 ミニアチュア Op.75a,B149よりI.カヴァティーナ（ドヴォルザーク）、6つの性格的二重奏曲「スペインのアリア」Op.113よりII. Moderato. Tempo di marcia（ベリオ）、パッサカリア（ヘンデル＝ハルヴォルセン）、三重奏曲ハ長調Op.74,B148（ドヴォルザーク）、テルツェット第1番第3楽章（フックス）※アンコール

入場者数 41 入場率 82.0%

支出	委託費	50,000円
	計	50,000円

収入	入場料	0円
	計	0円

回収率 0.0%

アンケート結果 平日の仕事帰りに立ち寄れる手軽さがとても良い。（音楽に詳しくなく、曲も知らないが、帰りに寄るなら足を運べる、というハードルの低さ。）（市外、40代女性）
 三重奏でもオーケストラに負けない迫力だった。ヴィオラがかっこよかった。（市内、30代女性）
 引き込まれる熱量ある演奏であったという間だった。（市内、40代女性）

担当者コメント バブリックススペース活用事業として「夜の実験室」企画を2021年度に引き続き開催した。本企画では、お客様と奏者が一体となって、音楽の新しい可能性を発見していくコンセプトとなっている。今回の実験テーマは「チェロのいない弦楽トリオ」。ヴァイオリン2本、ヴィオラ1本による珍しい形態の弦楽三重奏で公演を行った。三重奏の他に、ヴァイオリン2本のみ、ヴァイオリンとヴィオラの2本での演奏も行い、響きの違いを体感した。

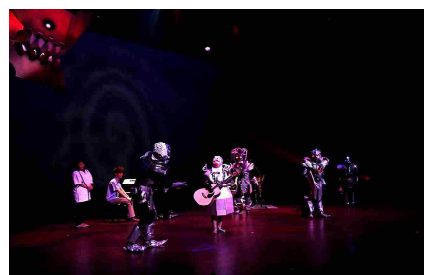


公演名	ホール見学SHOW		
日時	令和4年8月17日（水）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 森のホール		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	ブラクトミー、魔界帝王デスカイザー、ザンゲ、ドドス、モギーネ 小田智之（文化の家創造スタッフ）、弓立翔哉（文化の家創造スタッフ）、大脇ぼんだ（文化の家創造スタッフ）		
公演内容	文化の家オフィシャルYouTubeチャンネルに登場する魔界からやってきたキャラクター「魔界補佐官ブラクトミー」と演劇系創造スタッフの大脇ぼんだが掛け合いによる進行で、森のホールの歴史や舞台機構を案内していく。後半は、舞台演出実演を兼ねた、魔界を冒険するストーリー仕立てのショート演劇を行った。音楽系創造スタッフの弓立翔哉（パーカッション）と小田智之（作曲・ピアノ）も登場し、随所に演奏を入れながら、音楽も楽しめる公演内容。		
入場者数	191	入場率	93.6%
チケット料金	無料		
支出	印刷製本費	19,880円	
	計	19,880円	
収入	入場料	0円	
	計	0円	
回収率	0.0%		

アンケート結果
娘(小1)は年中からの2年半、コロナ禍ということで人混みを避け、映画館ですらこの春休みまで行っていたことがなかったが、広い舞台で劇を観ることができてうれしかった。(市外、40代女性)
早くコロナが落ち着いて、舞台裏を見られる様になりたい。キャラクターが手作り!!とは本当に感動した。ブラクトミーにさわりたかった(市内、40代女性)
椅子がひっくりかえってすごかった。(市内、10代男性)

担当者
コメント

子どもが楽しむことができるように、考えて作られた長久手市文化の家のオリジナルイベントで、今回で3回目の公演になる。はじめて森のホールに来た子どもも多く、劇場体験のきっかけとなるイベントとなり、舞台鑑賞や芸術に触れる気軽な機会とすることができた。生演奏とオリジナルストーリーで、毎回好評を得ているが、毎年この公演を観に来てくれる方もいるので、飽きない内容にしていきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書


公演名	アート&コミュニケーション 先の見えない時代のサバイバル術		
日時	令和4年8月27日（土）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	福のり子（講師）		
公演内容	対話型鑑賞の第一人者 福のり子氏による特別講演会		
入場者数	65	入場率	79.3%
チケット料金	（前売）フレンズ会員・一般2,000円、学生1,000円 （当日）フレンズ会員・一般2,000円、学生1,000円		
支出	委託費	180,000円	
	印刷製本費	13,140円	
	計	193,140円	
収入	入場料	118,000円	
	計	118,000円	
回収率			61.1%

アンケート結果
 とても良い経験になった。2,000円では買えない授業を受けられた。（市外、40代男性）
 他者の考えを受け入れることは、生き方そのものにも通じることだと思った。（市外、70代女性）
 対話型鑑賞が生きる力にとっても必要なもの、想像力の大切さを感じた。（市内、40代女性）

担当者
コメント

対話型鑑賞を日本に紹介した第一人者である福のり子氏を招いて、対話型鑑賞の本質に迫る講義をしていただいた。なぜ多様性が大切なのか、楽しく生きるにはどうしたらいいのかなど、人生観にまでつながるような学びがあり、まさにアートを通じて生き残るために必要なサバイバル術を伝える内容であった。参加者は、対話型鑑賞の経験があるが、深くまで知らないという人が多く、福氏の講演会は東海圏ではあまり開催実績もなかったことから、今回開催した意義があったといえる。



公演名	Nagakute Nature-Centered Project ハイキングコンサート2022 小学校鑑賞会	
日時	令和4年10月26日(水)	10時00分 開演
場所	長久手市文化の家 森のホール	
事業の種類	鑑賞・体験事業	
出演者	近藤薫(ヴァイオリン)、荒井里桜(ヴァイオリン)、松本和将(ピアノ)	
公演内容	2本のヴァイオリンとピアノのための組曲より、第1楽章(モシュコフスキー) カプリス第24番(パガニーニ) 2本のヴァイオリンのための協奏曲より、第2楽章(J.S.バッハ) 2本のヴァイオリンとピアノのための5つの小品より、ガヴオット・ワルツ・ポルカ (ショスタコーヴィチ) 2本のヴァイオリンとピアノのための組曲より、第4楽章(モシュコフスキー)	
入場者数	666 市内小学校5年生(南小除く)	入場率 100.0%
支出	委託費 バス委託料 計	300,000円 340,920円 640,920円
収入	(補助金)文化庁 計	150,000円 150,000円
回収率	23.4%	
アンケート結果	<p>動画で聞くよりひびいて、音楽の魅力がわかった。(東小、ヴァイオリン鑑賞経験あり)</p> <p>自然と音楽を合わせるの「頭いいな」と思った。(市が洞小、ヴァイオリン鑑賞経験なし)</p> <p>バイオリンは自然の物を使っている事に驚きました。演奏もとても綺麗でした。また、見に行きたい。(西小、ヴァイオリン鑑賞経験なし)</p> <p>迫力が凄く吸い込まれるかんじでした。(長小、ヴァイオリン鑑賞経験あり)</p>	
担当者コメント	<p>10月30日(日)に実施する「ハイキングコンサート」の関連企画として、近藤薫氏が小学生を対象に、自然の多様性と人間の感性の重要性について、レクチャーをしながらプロの演奏を聴いてもらうことを目的としている。小学生たちは最初こそ緊張していたが、段々と和んで楽しそうにしていた。演奏者たちは、約600人の小学生とのコミュニケーションの取り方に悩みながら進化したとのことだったが、とても有意義な時間であった。</p>	

公演名	小学校であーと（西小学校）		
日時	令和5年2月2日（木）		
場所	長久手市立西小学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	平光広太郎（ピアノ）、天木瑠里子（クラリネット、ヴォーカル）		
公演内容	スタンダード曲（1組There will never another you、2組Candy、3組酒とバラの日々）、星に願いを、シング・シング・シング、L.O.V.E.、I love the piano、ビギンザビギン		
入場者数	87		
支出	委託費		40,000円
	計		40,000円
収入	入場料		0円
	(補助金)文化庁		25,000円
	計		25,000円
回収率	62.5%		
アンケート結果	<p>ジャズがこんなに面白くカッコいいことを初めて知った。（児童）</p> <p>ピアノとクラリネットだけでも、きれいな曲が作れるんだなと思った。（児童）</p> <p>ドラム役で手拍子体験できてうれしかった。楽しかった。（児童）</p> <p>ピアノをととても早いリズム感で弾いていたことがすごかった。（児童）</p> <p>息ぴったりで驚いた。自分も金管バンドでみんなと息を合わせたい。（児童）</p> <p>生の演奏に感動しているのがよくわかった。（教員）</p>		
担当者コメント	<p>小学校であーとでは、地元アーティスト育成の観点から、愛知県立芸術大学在学学生等、若手アーティストが出演してきた。今回の西小学校公演では、より本格的で新しい内容に挑戦するため、中学校であーとの経験が豊富なジャズピアニスト平光広太郎氏を起用した。自然体でコミュニケーションを取る平光氏に、子どもたちもリラックスして演奏を聴くことができた。会場の盛り上がりに合わせてボルテージが上がっていく演奏を目の当たりにし、魅了される子どもたちの様子も見られた。</p>		



公演名	小学校であーと（東小学校、北小学校）		
日時	①令和5年2月8日（水）、②令和5年3月8日（水）		
場所	①長久手市立東小学校、②長久手市立北小学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	弓立翔哉（パーカッション／創造スタッフ）、小田智之（キーボード／創造スタッフ）、林友里菜（コンテンポラリーダンス／創造スタッフ）		
公演内容	<p>リズム、メロディー、ハーモニーの音楽の三要素を紐解きながら、ダンスも交えて展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のチャイムを曲にしてみた ・ゲーム音楽 ・即興による演奏 		
入場者数	①東小4年生3クラス	②北小4年生6クラス	
支出	委託費		140,000円
	計		140,000円
収入	入場料		0円
	文化庁助成金		50,000円
	計		50,000円
回収率			35.7%

アンケート結果 今日の演奏で音楽がちょっと好きになった。（児童）
 メロディーやリズムやハーモニーがそろって音楽になっていることに気づけた。（児童）
 いろんな音が出せるピアノがることを知った。チャイムの曲がよかった（児童）

担当者コメント 音楽の三要素を取り上げ、実演ゲーム音楽など身近な音楽を取り上げたことで関心を得ることができた。体を使ったリズムの学習などを、生演奏ならではの方法で子どもたちに伝えることができた。演奏曲もキャッチなものが多く、体を揺らしながら楽しむ子どもたちもたくさんいて、音楽を楽しむ方法を自然に伝えることができていた。ダンスも取り入れたことで、子どもたちの興味を途切れさせることなく、最後まで、ステージを楽しませることができた。



公演名	小学校であーと（長久手小学校、南小学校）
日時	①令和5年2月16日（木）、②令和5年2月22日（水）
場所	①長久手市立長久手小学校、②長久手市立南小学校
事業の種類	普及・啓発事業

出演者	猪子奈津子（ヴァイオリン）、角美吹（ピアノ）
-----	------------------------

公演内容	ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調第一楽章（モーツァルト）、ロマンス（クライスラー）、ラデツキー行進曲（ヨハン・シュトラウス1世）、ヴァイオリン・ソナタ第1番ニ長調作品12-1より第一楽章（ベートーヴェン）、ツイガース（ラヴェル） 【アンコール】ラ・クンパルシータ（マロス・ロドリゲス）※南小学校のみ
------	---

入場者数	長久手小学校4年生3クラス、南小学校4年生4クラス
------	---------------------------

支出	委託費	80,000円
	計	80,000円

収入	入場料	0円
	（補助金）文化庁助成金	50,000円
	計	50,000円

回収率	62.5%
-----	-------

アンケート結果	私もピアノが嫌いだったけど、今日の演奏でちょっと好きになった。（児童） いろんな人と演奏するのが、すごく楽しいということに気づけた。（児童） ピアノとバイオリンがうま過ぎて大学生なのわすれそうでした！（児童） 違う楽器でも合わせたりおしゃべりしたりしてキレイな音が出ていてすごいなあと思った。（児童）
---------	---

担当者コメント	<p>であーとは、長久手市文化の家と関わるアーティストたちが学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。長久手小学校及び南小学校公演では、昨年度の感染症拡大のため中止となってしまった猪子氏が出演。子どもたちにとって、音楽家・クラシック音楽が身近な存在となることを目標にプログラムを構築。終始賑やかな児童が多い学校だったが、最終曲（ツイガース）を演奏する頃には、集中して演奏に聴き入る姿が見られた。</p>
---------	---



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名 議場コンサート

日 時 令和5年2月21日（火） 9時20分 開演

場 所 長久手市役所 議場

事業の種類 鑑賞・体験事業 配信 リアルタイムのみ

出演者 平光真弥（ヴァイオリン）、新谷歌（ヴィオラ）、酒井敬彰（コントラバス）

公 演 内 容 日本の四季メドレー、チャールダッシュ（モンティ）

入 場 者 数 25

支 出		委託費	60,000円
		計	60,000円

収 入		入場料	0円
		計	0円

回 収 率 0.0%

アンケート結果

演奏を聴いていたら感動して涙が出そうになった。（議員）

間近で演奏者が見えて演奏も聴けて良かった。（議員）

聴く年齢層に合った選曲だった。（議員）

※議会事務局による聞き取り

担当者
コメント

本公演は、令和5年第1回定例会から始まる市議会本会議中継配信に合わせ、市民に議会を身近に感じてもらい、市民及び議員に文化の家アウトリーチ事業を知ってもらうために実施した。議会事務局と共催のため、議員側への周知や調整は議会事務局が対応した。議員や中継を視聴する市民を意識した曲目が演奏された。



公演名	小学校であーと（市が洞小学校）		
日時	令和5年3月10日（金）		
場所	長久手市立市が洞小学校		
事業の種類	普及・啓発事業		
出演者	大橋音子（サクソフォン）、安成紅音（ピアノ）		
公演内容	ディベルティメント（ブートリー）、シャンソンとパスピエ（リュエフ）、プロバンスの風景より ジプシーの娘（モーリス）、プレリュード・カデンツァ・フィナーレ（デザンクロ）		
入場者数	市が洞小学校4年生6クラス		
支出	委託費	40,000円	
	計	40,000円	
収入	入場料	0円	
	（補助金）文化庁助成金	40,000円	
	計	40,000円	
回収率	100.0%		
アンケート結果	<p>サクソフォンの音を生で聞いたことが無かったから、新鮮な感じだった。（児童）</p> <p>音楽の中には、気持ちがあるように感じた。（児童）</p> <p>知らない曲なのにリラックスできるので音楽って良いなと思った。（児童）</p> <p>11分間の曲の演奏が速くなったり遅くなったりして、さらに色々な音を弾いてくれたので面白く、楽しかった。（児童）</p>		
担当者コメント	<p>であーとは、長久手市文化の家と関わるアーティストたちが学校でパフォーマンスを行う教育プログラム。市が洞小学校では、愛知県立芸術大学在学の大橋氏が出演。度重なるリハーサルや打合せを経て、当初のプログラムから大幅な変更を行い、自身の経験を踏まえた思い入れのある楽曲を選定した。児童が知らない曲ばかりではあったが、楽器の説明や曲にまつわる思い出を語るトークと緩急のある楽曲を児童は終始真剣に聞き入っており、会場には一体感が生まれていた</p>		

令和4年度 ふくしであーと実施報告

長久手市内福祉施設等に訪問演奏を行い、日常的に劇場に足を運ぶことができない市民に音楽を届ける。またコロナ禍における福祉施設での生活の潤いとなるように実施する。

出演：石川貴憲（サクソフォン）、菅原拓馬（ピアノ、作曲）

観覧者数；各施設約 30 人程度

	日程	実施先	サービス	法人等名
1	4月26日(火)	ながろく集会所	—	長六自治会
2	5月27日(金)	楽家晴	小規模多機能型居宅介護	有限会社ハートフルハウス
3	5月27日(金)	ゴジカラ村ケアハウス	デイサービス・ケアハウス	社会福祉法人愛知たいようの杜
4	5月27日(金)	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人愛知たいようの杜
5	10月14日(金)	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人愛知たいようの杜
6	10月14日(金)	嬉楽家	グループホーム	社会福祉法人愛知たいようの杜
7	10月14日(金)	だいたい村	小規模特別養護老人ホーム	社会福祉法人愛知たいようの杜
8	11月24日(木)	ゴジカラ村ケアハウス	デイサービス・ケアハウス	社会福祉法人愛知たいようの杜
9	11月24日(木)	ハモリー館・杜っと館	特別養護老人ホーム	社会福祉法人愛知たいようの杜
10	11月24日(木)	楽居暮	住居型有料老人ホーム	有限会社ハートフルハウス



令和4年度アートデリバリー実施報告

◎文化庁補助事業

長久手市内児童館等で、乳幼児を含んだ親子等、劇場に足を運びにくい市民に対して演奏会を実施し、一息ついたり、親子で楽しむ時間となるように届ける。

出演者	弓立翔哉（創造スタッフ、パーカッション） 小田智之（創造スタッフ、鍵盤・作曲） 大脇ぱんだ（創造スタッフ、演劇・朗読） 林友里菜（創造スタッフ、コンテンポラリーダンス）
-----	---

	日程	訪問場所	参加者数
1	8月25日(木)9:30	上郷児童館	各会場 約30人程度
2	8月25日(木)11:00	市が洞児童館	
3	8月29日(月)10:30	東児童クラブ	
4	9月28日(水)9:30	青少年児童センター	
5	9月28日(水)11:00	南児童館	
6	12月2日(金)10:30	北児童館	
7	1月18日(水)10:00	アートケアチャイルド	
8	3月17日(金)10:30	西児童館	



令和4年度 小学校舞台見学会実施報告

長久手市内の小学校を対象に、劇場ホールの裏側や大型舞台装置の実演を行い、劇場に興味関心を持ち、身近に文化の家を感じてもらうことを目的に実施する。

出演：文化の家職員、舞台スタッフ

実施日：

	日程	学校名	参加学年
1	6月3日（金）	長久手市立南小学校	3年生 約120人
2	9月29日（木）	長久手市立北小学校	2年生 約180人

長久手市立南小学校



長久手市立北小学校



4 シネマ倶楽部事業

長久手市文化の家では、市民団体「シネマ倶楽部」が作品選定から上映会当日の運営まで行い、月に1回シネマの楽しみ（映画上映会）を開催しています。

(各回定員80人)

上映日	時間	上映作品	入場者
4月14日（木）	10:00	ショウほど素敵な商売はない	33
	14:00		32
5月12日（木）	10:00	見知らぬ乗客	34
	14:00		29
6月9日（木）	10:00	雨に唄えば	36
	14:00		27
7月14日（木）	10:00	おとうと	36
	14:00		30
8月21日（木・祝）	10:00	岬のマヨイガ （有料上映）	67
	14:00		55
9月8日（木）	10:00	素晴らしき哉、人生！	38
	14:00		28
10月13日（木）	10:00	独裁者	37
	14:00		36
11月10日（木）	10:00	欲望という名の電車	38
	14:00		29
12月8日（木）	10:00	裸の大將	39
	14:00		25
2023年 1月12日（木）	10:00	めぐり逢い	35
	14:00		29
2月9日（木）	10:00	炎上	38
	14:00		34
3月21日（火・祝）	10:00	ディア・エヴァン・ハンセン （有料上映）	75
	14:00		69
合計			929

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	キッズ・サマー・シネマ 「岬のマヨイガ」		
日時	令和4年8月11日（木）	①10時00分②14時00分開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	市民参画事業		
出演者	芦田愛菜（ユイ）、大竹しのぶ（キワさん）、カッパ（サンドイッチマン）ほか		
公演内容	岬のマヨイガ 原作：柏葉幸子 監督：川面真也		
入場者数	122	入場率	76.3%
チケット料金	(前売) 500円 (当日) 500円		
支出	フィルム借上料		165,880円
	チラシ印刷費		11,592円
	計		177,472円
収入	入場料		80,000円
	計		80,000円
回収率			45.1%

アンケート結果

とても心に響く映画だった。観たかったので有難かった。（市外、50代女性）
 子供づれでこれる、とてもよい取り組みだと思う。（市外、50代女性）
 コロナのこともあり観賞に迷いましたが観にきてほんとうによかった。（市内、50代女性）

担当者
コメント

シネマ倶楽部が、夏休みに親子で楽しめるようにと選定したアニメ映画で、光のホールでの映画鑑賞会としては、2年半ぶりに席設定を満席（80席）にした。子どもも楽しめる作品だが、妖怪が出るなど小さい子には少々怖いという感想があった。しかし、感動した！心が温かくなったなど、概ね好評だった。今後は大雑把にキッズとうたわず、年齢も熟慮したうえで、作品を選定していきたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名
シネマで逢いましょう
「ディア・エヴァン・ハンセン」

日 時 令和5年3月21日（火） ①10時00分開演 ②14時00分開演

場 所 長久手市文化の家 光のホール

事業の種類 市民参画事業 配信 なし

出演者 ベン・プラット、ジュリアン・ムーア、エイミー・亚当ス、ケイトリン・デヴァー、他

公演内容
ディア・エヴァン・ハンセン
監督：スティーヴン・チョボウスキー

入場者数 ①75 ②69 入場率 87.8%

チケット料金
(前売) フレンズ会員500円、一般500円
(当日) フレンズ会員500円、一般500円

支 出	フィルム借上料	132,880円
	印刷費	10,968円
	計	143,848円

収 入	入場料	72,000円
	計	72,000円

回 収 率 50.1%

現代にとっても大切な問題と思う。それと同時に難しいことだとも思った。考えていかなければいけないと感じた。(市外、70代女性)

アンケート結果 映画をホールで鑑賞することができてよかった。見逃したと後悔していた作品だったのでなおよかった。身近でこのように鑑賞できる空間が素敵。(市内、20代女性)
エンドロールまで流してほしい。(市内、20代男性)

担当者
コメント

シネマ倶楽部が、春休みに学生にも楽しんでもらえるように選定した作品。テーマに「友達の自殺」や「いじめ」などハードな分野が取り上げられているが、ミュージカル仕立てということで見やすい作品であった。毎月行われているシネマの楽しみの常連客のみならず、祝日開催ということもあり若い年齢層が目立った。もう少し中・高校生に見てもらえるとよかった。



5 アートスクール

令和4年度長久手市文化の家アートスクール 長期講座

	講座名	講師	回数	定員	受講者数			主な会場
					全体	市内	市外	
1	フルートアンサンブル (初級者向け)	妹尾寛子	17	12	8	3	5	音楽室
2	フルートアンサンブル (中級者向け)	妹尾寛子	17	12	12	4	8	音楽室
3	チェロアンサンブルの愉 しみ	高木俊彰	18	15	15	4	11	音楽室
4	絵画	チュンジョン	19	15	13	7	6	美術室
5	デッサン+アート	チュンジョン	19	15	15	8	7	美術室
6	クラシックギター	山田陽介	17	12	13	8	5	音楽室
7	ジュニア弦楽アンサン ブル講座	横田真規子	22	15	9	1	8	音楽室
8	子ども美術・造形	斉藤誠	15	15	17	17	0	美術室
9	子どもクラシックバレエ (小1・小2)	中谷友香	23	22	7	7	0	舞踊室
10	子どもクラシックバレエ (小3～中学生)	中谷友香	23	22	6	4	2	舞踊室
11	大人クラシックバレエ	中谷友香	23	26	12	6	6	舞踊室
12	戯曲セミナー～心に届く 生きた台詞～	はせひろいち	15	30	13	1	12	講義室 2
合計			228	211	140	70	70	


公演名	戯曲セミナー優秀短編上演会 『湯気たつ雪夜コメ食いし…』		
日時	令和5年3月11日（土）	19時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	第1話：荘加真美、台越竜太郎、石川朋未、太田竜次郎 第2話：和田美夏子、田村優太、中島大貴 第3話：林優花、二瓶翔輔 第4話：堀合真由、空沢しんか、小湊悠		
公演内容	第1話『めがね』（作・つげ周爾） 第2話『コンビニ劇場』（作・黒川ゆかり） 第3話『ゲームオーバー』（作・田村優太） 第4話・遠く別上演『金の鈴』（作・市瀬佳子）		
入場者数	74	入場率	46.3%
チケット料金	無料		
支出	委託費	500,000円	
	計	500,000円	
収入	入場料	0円	
	文化庁補助金	250,000円	
	計	250,000円	
回収率	50.0%		

アンケート結果 はじめてみたけどおもしろかった。無料でびっくり。（40代女性）
 鮮やかで面白い戯曲ばかりで楽しかった。（40代女性）
 今後も大いに期待します!! 自分も挑戦してみようか! と思ったりした。（50代女性）

担当者 コメント 戯曲セミナーの参加者による完成作品の発表会。セミナー参加者とは思えないクオリティーの高い戯曲に仕上がっていた。はせさんの演出も、戯曲の魅力を生かした作風となっており、来場者からの評価も、初めて来たがとても楽しかったとの評価が多々あった。受講者が固定化している傾向もあるため、今後は新規受講者の開拓も必要である。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	創造スタッフ企画 ダンスで作るコミュニケーション はずむカラダはずむココロ		
日時	令和4年5月14日（土）	10時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	林友里菜（舞踊系創造スタッフ） 松林 由華（ダンサー）		
公演内容	10:30～12:00 カラダをほぐすワークショップ 12:00～13:00 昼休憩 13:00～15:00 ダンス作品を作ってみよう 15:00～16:00 ダンス作品発表会		
入場者数	8	入場率	40.0%
チケット料金	（前売）1,000円 （当日）1,000円		
支出	報償費	15,000円	
	印刷費	14,615円	
	計	29,615円	
収入	入場料	8,000円	
	計	8,000円	
回収率			27.0%
アンケート結果	<p>すごく楽しかったです！！ひょうげんダンスはやったことがなかった。（市内、10歳女性）</p> <p>すごかった。時間が進むのは、すごく早かった。やさしかった。（市内、12歳女性）</p> <p>友だちにいこうといわれたから来たけど楽しかった。（市内、9歳女性）</p> <p>自由に表現できてすごくよかった！（市内、13歳男性）</p>		
担当者コメント	<p>舞踊系創造スタッフ林友里菜によるワークショップ。舞踊系創造スタッフの得意分野を生かす企画内容となった。ターゲット層であったダンス未経験者の参加が多く、参加した子どもたちははじめての表現ダンスを学年を越え、みんなで楽しむことができた。またアンケートにも、ダンスが好きになった、表現が楽しいと知ったなど期待どりの内容が多く、目標を達成したと言える。今後こうした世代をダンス公演鑑賞につなげていきたい。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市職員・教員限定 対話型鑑賞ワークショップ		
日時	令和4年7月22日（金）	10時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	川北眞紀子		
公演内容	対話型鑑賞		
入場者数	5	入場率	50.0%
支出	委託費		20,000円
	計		20,000円
収入	入場料		0円
	計		0円
回収率			0.0%
アンケート結果	<p>頭の中で考えをまとめて、相手に伝わるように話すことが大切だと思った。（市内、30代女性）</p> <p>多様な感じ方を互いに話すことで知ることが出来、誰にも否定されず伝え合える心地良さ、仕事にも生かしていけると思った。（市内、50代女性）</p> <p>とても面白かった。職場の方の何人かは仕事の都合がつかず残念であった。（市外、60代女性）</p>		
担当者コメント	<p>集まった人で対話をしながら作品を鑑賞するプログラム。特別な知識は不要。絵を見て感じたこと、気づいたことを言葉にしてその場で互いにシェアすることで、発言力や他者の視点をくみ取る力が身につくといわれている。様々なお客様と接する職業に必要な講座だと思われ、市職員及び教員を対象に実施。講座を通じて、多様な考えがあること、どのようにくみ取ったら良いのかのヒント等を得られたと考えられる。参加者数が定員の半分にとどまった理由の一つとして、応募期間が短かったことから予定が合わなかったことが考えられる。今後は2か月前から募集するなど、募集期間を長くし、多くの参加者を得たい。</p>		



公演名	文化と地域デザイン講座～長久手市編～ 「新しいまつりをつくる –東京高円寺阿波おどり–」		
日時	令和4年7月24日（日）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	リアルタイム・後日
出演者	富澤 武幸（NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会専務理事・事務局長）、松本 茂章（文化と地域デザイン研究所代表）		
公演内容	<p>観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の幅広い各分野との横断的な文化芸術の施策を紹介するとともに、専門家や先進地である自治体からゲストを招く講座シリーズ。</p> <p>テーマ：新しいまつりをつくる –東京高円寺阿波おどり–</p> <p>ゲスト：富澤 武幸（NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会専務理事・事務局長）</p>		
入場者数	22	入場率	27.5%
支出	委託費	100,000円	
	印刷製本費	9,871円	
	計	100,000円	
収入	入場料	0円	
	（補助金）文化庁	50,000円	
	計	50,000円	
回収率	50.0%		

アンケート結果 どんなイベントでも様々なボランティアの支えが不可欠であり、それなしでは成り立たない、ということを感じた。（市内、70代男性）
 良かった。入場者が少ないのが残念である。多くがオンライン？（市内、70代男性）

担当者コメント まちづくりの視点から、全国のさまざまな事例を紹介する「文化と地域デザイン」。徳島阿波踊りといえば日本で有数のお祭りの一つである。その阿波踊りが東京で開催され、65年もの歴史を重ねてこれたのは、地元住民の熱い思いと、それを支えるボランティアや地域社会があったからとわかった。なお、昨年度から日時を見直し、開催曜日を平日から休日に、開始時間も早めた結果、来場者もオンライン参加者も激減してしまったため、日程や時間を精査したい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	Nagakute Nature-Centered Project ながくて てつがくカフェ① テーマ「あるく」		
日時	令和4年8月20日（土）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 美術室		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	近藤薫（東京大学先端科学技術研究センター特任教授／東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター）		
公演内容	「あるく」をテーマに、グループごとに分かれた参加者同士で自由に話を深める。		
入場者数	24	入場率	96.0%
支出	委託費	50,000円	
	計	50,000円	
収入	入場料	0円	
	計	0円	
回収率	0.0%		

アンケート結果

とても斬新な企画で面白かった。（市内、70代男性）

年代ごとの話がきけて共感しあえたり、新たな思考が生まれたりよかった。（市外、40代女性）

普段なかなか考えられないことを深く楽しく考えられて、楽しい時間だった。（市内、40代男性）

担当者コメント

何か答えを出すのではなく、一つのテーマについて深く考えることをねらいとした企画。参加者は特に何も用意することなく、テーマについて話し合うという試みだったが、深く考える機会になったと好評を得た。近藤薫氏による講演とヴァイオリン演奏もあり、参加者の満足度の高い充実した時間となった。今回美術室で約25人という人数で行ったが、コロナ禍において少し密になってしまった部分もあり、会場についてもは改善が必要であった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 長久手市文化の家アートスクール短期講座
「対話型鑑賞ワークショップ」

日時 令和4年8月21日（日） 10時00分 開演

場所 長久手市文化の家 講義室1

事業の種類 鑑賞・体験事業 配信 なし

出演者 川北真紀子、藤島えり子

公演内容 対話型鑑賞

入場者数 9 入場率 90.0%

チケット料金 1,000円

支 出	委託費	20,000円
	印刷製本費	16,928円
	計	36,928円

収 入	入場料	9,000円
	計	9,000円

回収率 24.4%

アンケート結果 タイプの違う4種類の絵により、色々なインスピレーションが浮かび、違う意見に更に考える力がつくようで楽しかった。最後の絵はもっともっと話し合いたかった。（市内、50代女性）
 こうしたワークショップに初めて参加させていただき、参加者の数だけ見方がある面白さを感じた。実際の作品を見ながらできるとさらに良かったな、と思った。（市外、30代男性）
 コロナ禍で会話の少ない日常だが、久しぶりに皆さんの声を聞いた。（市外、70代男性）

担当者コメント 集まった人で対話をしながら作品を鑑賞するプログラム。特別な知識は不要。絵を見て感じたこと、気づいたことを言葉にしてその場で互いにシェアすることで、発言力や他者の視点をくみ取る力が身につくといわれている。今回はディスプレイに絵画等のアート作品を映し実施。参加者の多くは、発言力の能力を高める等の目的よりも、コロナ禍で失われた他人とのコミュニケーションを求めているように思えた。「アート」という材料をもとにコミュニケーションが生まれ、とても和やかに実施できた。今後は、アート作品を借用するなどして、文化の家でも実物を使用した対話型鑑賞ができるよう、環境を整えたい。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	音楽講座シリーズ① ゲーム音楽		
日時	令和4年9月2日（金）	18時30分 開演	
場所	長久手市文化の家 風のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	リアルタイム・後日
出演者	小室敬幸（講師）、小田智之（創造スタッフ・ピアノ）、弓立翔哉（創造スタッフ・パーカッション）		
公演内容	すぎやまこういち関係の曲などを解説。 創造スタッフによる演奏付き。		
入場者数	70	入場率	27.3%
チケット料金	（前売）500円 （当日）500円		
支出	委託費	60,000円	
	印刷製本費	13,621円	
	音楽著作権料	2,750円	
	計	76,371円	
収入	入場料	39,500円	
	計	39,500円	
回収率	51.7%		

アンケート結果
 すぎやまこういちがいろいろな経歴を経て、DQにたどり着いたことがわかった。（市内、40代男性）
 あまり知らない分野だからこそ、聴きに來れてよかった。（市内、20代女性）
 今後の音楽講座のシリーズに期待する。（市外、80代男性）

担当者コメント
 今年度から開催している、音楽ライター小室敬幸氏による講座。ゲーム音楽を扱う講座は公共施設では類がなく、挑戦的な企画だった。若者世代を中心に爆発的な人気がありながら、これまであまり深く知られていなかったゲーム音楽の背景に迫る講座となった。来場者からも新しい発見になったとの声をいただき、今まで聴いたことのない音楽を聴ききっかけが作れたと思う。これまでの文化の家の客層とは異なるターゲット層をねらったため、集客が伸び悩んだのは残念であったが、普段は來ないような20代や30代の来場者もおり、ねらいがうまくいったといえるだろう。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名	長久手市文化の家アートスクール短期講座 「対話型鑑賞ワークショップ」@あいち国際芸術祭		
日 時	令和4年9月3日（土）	11時00分 開演	
場 所	あいち国際芸術祭「あいち2022」ポップ・アップ！長久手市文化の家会場		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	川北真紀子		
公演内容	対話型鑑賞		
入場者数	14	入場率	140.0%
チケット料金	（前売）一般：1,000 （当日）一般：1,000		
支 出	委託費		20,000円
	計		20,000円
収 入	入場料		14,000円
	計		14,000円
回 収 率			70.0%
アンケート結果	他の人の意見から新しい見方をすることができて、たのしかった。（市内、40代女性） 活発な対話ができよかった。（市外、男性50代） 1人で美術館に行くことが多いので、いろいろな意見を聞くことができてたのしかった。1つ気になったのが、作品の指さしをする方が多く、作品に触れてしまいそうで心配になった。（市外、40代女性）		
担当者コメント	集まった人で対話をしながら作品を鑑賞するプログラム。特別な知識は不要。絵を見て感じたこと、気づいたことを言葉にしてその場で互いにシェアすることで、発言力や他者の視点をくみ取る力が身につくといわれている。今回は3年に一回の祭典、あいち国際芸術祭の会場を舞台に開催。芸術祭のキュレータが厳選した有名な作家による作品を使用する贅沢な内容となった。独特な作品が多かったため、様々な感想が飛び交い参加者同士、驚きや発見が多かったように思えた。アンケートにもあるとおり、自由に鑑賞して良いワークショップなのだが、鑑賞するときの最低限のマナーについては事前に案内すべきだと思われた。		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	Nagakute Nature-Centered Project <small>ながくて てつがくカフェ</small> ② テーマ「心がうごくってどういうこと？」		
日時	令和4年9月10日（土）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 展示室		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	神崎亮平、中邑賢龍 (東京大学先端科学技術研究センター)		
公演内容	「心が動くってどういうこと？」をテーマに、グループごとに分かれた参加者同士で自由に話を深める。		
入場者数	21	入場率	84.0%
支出		委託費	111,000円
		計	111,000円
収入		入場料	0円
		計	0円
回収率	0.0%		

初めて会った方たちとの交流が新たな考え方を知る機会にもなりました。（市外、40代女性）
アンケート結果 名古屋市に住んでいるが、こういう企画はあまりない。長久手市民がうらやましい（市外、30代女性）
全く共感できる話ばかりだった。是非継続を。（市内、70代男性）

担当者
コメント

8月20日に行った「ながくててつがくカフェ」の第2弾。今回は昆虫が専門の神崎亮平先生、教育が専門の中邑賢龍先生の2人をゲストに招いた。前回から続けての参加者もあり、それぞれのグループで深く思考する時間が得られていた。今回はゲストが2人いたことから、盛り上がってきたところで時間がきてしまい、少し時間設定が短かったように思われた。深く対話するには時間が必要であるため、時間配分をどうするかは今後の課題である。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 俳優を目指さない人の為のワークショップ

日時 令和4年9月17日（土） 13時00分 開演

場所 長久手市文化の家 舞踊室

事業の種類 鑑賞・体験事業（提携） 配信 なし

出演者 小熊ヒデジ

公演内容 俳優を目指さない人の為のワークショップ
エチュードやシアターゲームを中心に、演劇手法を通じて参加者同士のコミュニケーションを体験していくもの。

入場者数 23 入場率 76.7%

チケット料金 （前売）1,000円
（当日）1,000円

支出 提携事業のため支出なし
計 0円

収入 提携事業のため収入なし
計 0円

回収率

アンケート結果 声が体をつくり体が感情をつくるということが、すごくよくわかった。（市外、60代男性）
演劇WSは初めてで声の変化で伝わるものが違って来るのがとても新鮮だった。（県外、60代女性）
なんで自分が演劇が好きなのか考えたこともなかったので色々発見だった！楽しかった！（市外、40代女性）

担当者コメント 俳優とは何か、演じるということとは何か？という演劇の根本を簡単なゲームやエチュードを行いながら体感するワークショップ。コロナ禍で5年ぶりの開催となった。ワークショップは終始和やかに進み、参加者の皆さんもとても楽しそうに参加していた。予想以上の申し込みがありキャンセル待ちとなったが、最終的に定員割れしてしまったため、キャンセル待ちとその対応については精査が必要。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市文化の家アートスクール短期講座 「対話型鑑賞ワークショップ」@名都美術館		
日時	令和4年9月25日（日）	17時00分 開演	
場所	名都美術館		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	藤島えり子（元文化の家創造スタッフ）		
公演内容	対話型鑑賞		
入場者数	14	入場率	100.0%
チケット料金	（前売）一般：1,000円 （当日）一般：1,000円		
支出	委託費	20,000円	
	計	20,000円	
収入	入場料	14,000円	
	計	14,000円	
回収率			70.0%

アンケート結果

参加者の皆さんのご意見になるほど思いながらも、やはり作者(画家)の意図とかを知りたい気持ちになった。鬼頭さんの解説ですっきりした。（市外、40代女性）

進行が良く、また、解説や皆様の意見もお聞きでき、楽しい時間であった。（市内、70代男性）

始まる30分前にじっくりと見れる時間があり、よかった。美術館で話し合いをしながらの鑑賞は、とても貴重な経験であった。”何かを話そう”と思いながら見るとじっくり見るし、なんとなく見る時では気づけないことに気づけた。アウトプットは大事。（市内、40代女性）

担当者コメント

集まった人で対話をしながら作品を鑑賞するプログラム。特別な知識は不要。絵を見て感じたこと、気づいたことを言葉にしてその場で互いにシェアすることで、発言力や他者の視点をくみ取る力が身につくといわれている。今回は市内の名都美術館の特別展「伊東深水展」を舞台に開催。伊東深水の柔らかな表情の作品は、参加者の心を落ち着かせ、緩やかな対話を生み出していた。また、対話型鑑賞を行った作品ごとに名都美術館所属学芸員の鬼頭氏に深水の思いなどを含めた作品解説をお願いし、より深く作品を知っていただくことができた点は、大変評判がよかった。これからも、市内施設の特性を生かしながら実施する事業を企画していこうと考えている。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 工作ワークショップ いるかもおるかも

日時 令和4年10月10日（月） ①10時00分②13時30分開演

場所 長久手市文化の家 美術室

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 橋寛憲（文化の家フランチャイズアーティスト）

公演内容 様々な材料をもとに、いるかもしれない生物を作り出す工作ワークショップ

入場者数 36 入場率 180.0%

チケット料金 （前売）500円
（当日）500円

支 出	印刷製本費	12,869円
	計	12,869円

収 入	入場料	18,000円
	計	18,000円

回収率 139.9%

アンケート結果 アニメーションの撮影もおもしろかった。またやってほしい。（市内、40代女性）
あまりない企画で、参加型でみんなのできたため楽しかった。（市外、50代女性）
子供達が夢中になって作る様子が見ていてとても楽しかった。（市外、40代女性）

担当者
コメント


発想力を豊かにしながら、たくさんの材料のなかから生き物を作ることを楽しむワークショップとして開催した。参加者はみんな夢中になって取り組んでおり、たくさんのいきものが生まれた。後日には、作ったいきものたちを動かしてコマ取りアニメを制作するワークショップも開催して、好評を得た。特にコマ取りに関しては、あまり類似の取組がないことから、また開催してほしいとの声もあった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	長久手市文化の家アートスクール短期講座 「対話型鑑賞ワークショップ」@愛知県立芸術大学芸術資料館		
日時	令和4年11月3日（木）	11時00分 開演	
場所	愛知県立芸術大学		
事業の種類	鑑賞・体験事業	配信	なし
出演者	藤島えり子（元文化の家創造スタッフ）		
公演内容	対話型鑑賞		
入場者数	12	入場率	120.0%
チケット料金	（前売）一般：1,000 （当日）一般：1,000		
支出	委託費	20,000円	
	計	20,000円	
収入	入場料	12,000円	
	計	12,000円	
回収率	60.0%		
アンケート結果	<p>自分を知るための対話型鑑賞、という言葉が良かった。自分の見方、感じ方のクセ、固定概念も自分の中にはびこっているな、ということも改めて感じた。（市外、40代女性）</p> <p>絵画でなく立体作品のジャンルであったが、要素が少ない作品もあり、それがかえってみなさんの鑑賞を深めた気がする。（市内、40代女性）</p> <p>日常知らない「芸大」という場所で実施してよかった。（市外、50代女性）</p>		
担当者コメント	<p>集まった人で対話をしながら作品を鑑賞するプログラム。特別な知識は不要。絵を見て感じたこと、気づいたことを言葉にしてその場で互いにシェアすることで、発言力や他者の視点をくみ取る力が身につくといわれている。今年度最終回の今回は、市内にある愛知県立芸術大学芸術資料館の教員展を舞台に開催。講師は、今までの回で絵画作品を実施していたことから、今回は立体作品を選択し実施。参加者は新鮮な面持ちで、上下左右あらゆる角度から作品を鑑賞し、対話を楽しんでいた。「自分を知るためのツールの一つとして、これからも対話型鑑賞を楽しんでほしい。」という講師の言葉で、この回は締めくくられた。来年度以降、以前より参加者から要望のあった対話型鑑賞ファシリテーション講座を実施することも検討していく。</p>		



公演名	文化と地域デザイン講座～長久手市編～ 「障がいのある人に、いかに演劇を届けるか？」		
日時	令和4年11月20日（日）	15時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	リアルタイム・後日
出演者	菅原ゆうき（兵庫県立ピッコロ劇団 俳優）、松本 茂章（文化と地域デザイン研究所代表）		
公演内容	<p>観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の幅広い各分野との横断的な文化芸術の施策を紹介するとともに、専門家や先進地である自治体からゲストを招く講座シリーズ。</p> <p>テーマ：障がいのある人に、いかに演劇を届けるか？</p> <p>ゲスト：菅原ゆうき（兵庫県立ピッコロ劇団 俳優）</p>		
入場者数	16	入場率	20.0%
支出	委託費		100,000円
	計		100,000円
収入	(補助金)文化庁		50,000円
	計		50,000円
回収率	50.0%		
アンケート結果	<p>多様性についての解釈が強くなり心に残った。音声ガイドやオープン字幕など具体的に知ることができた。（市内、30代男性）</p> <p>演劇が見たくなった。少し難しい作品でもオープン字幕があると話がものすごく分かりやすくなる。こんなに深い話が聞けるとは思わなかった。（市外、50代女性）</p> <p>地道にコツコツ実践を積み重ねている劇団の努力に頭が下がる。できる範囲で続けていくこと、広めていくこと、これらの取り組みを実践しようと思った。（オンライン（福井県）、40代女性）</p>		
担当者コメント	<p>まちづくりの視点から、全国のさまざまな事例を紹介する「文化と地域デザイン」講座。視覚・聴覚に障がいがある方が、演劇公演を鑑賞することに、ハードルがあることが多い。そんな中、兵庫県立ピッコロ劇団は鑑賞サポートに力を入れている。音声ガイドや字幕作成を俳優自らがやっていることが紹介され、実際に会場のお客さんも音声ガイドの体験をした。内容も非常に意義深いもので、ピッコロ劇団内からも、職員向け研修用映像として利用したいとの話もあった。障がい福祉関係者も参加・視聴があり、他分野連携の取組が紹介できたと感じている。</p>		

長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名	音楽講座シリーズ② 映画音楽		
日時	令和4年11月26日（土）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	なし
出演者	小室敬幸（講師）		
公演内容	映画音楽の歴史を概観する講座		
入場者数	57	入場率	69.5%
チケット料金	（前売）500円 （当日）500円		
支出	委託費	60,000円	
	印刷製本費	15,937円	
	音楽著作権	1,375円	
	計	75,937円	
収入	入場料	31,100円	
	計	31,100円	
回収率	41.0%		

アンケート結果 映画はよく見るが、音楽の使われ方まで深く意識していなかった。（市外、40代女性）
 内容が充実しており勉強になる。この講座が続くことを希望する。（市外、60代男性）
 今まで音楽は付け足しと感じていたかもしれない。今日から見方が変わる。（市内、50代女性）

担当者コメント 今年度から開催している、音楽ライター小室敬幸氏による講座の映画音楽版。まだフィルムに音楽がついていなかった時代の映画音楽から始まり、どのように映画音楽が発展していったのかを、たくさんの作品紹介を交えて解説していただいた。何気なく聴いていた映画音楽の深い部分まで知ることができたといった声もあり、参加者の満足度の高いものになった。講座修了後には、次回以降の講座のチケットを購入している人も多数おり、連続講座としてもうまくいっていると思われる。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 音楽講座シリーズ③ ジャズ

日時 令和5年1月28日（土） 14時00分 開演

場所 長久手市文化の家 光のホール

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 小室敬幸（講師）

公演内容 ジャズの聴き方講座

入場者数 63 入場率 76.8%

チケット料金
（前売）500円
（当日）500円

支 出	委託費	60,000円
	音楽著作権	1,650円
	計	60,000円

収 入	入場料	34,000円
	計	34,000円

回収率 56.7%

アンケート結果
コンパクトにジャズの歴史が知れて良かった。ポストモダン以降の歴史(ジャンル)の読み取り方が新鮮だった。（市外、40代男性）
殆どシロウトだったが、多くの知らないことがおかげで知れた。それによって知りたいことがふえた。（市内、70代男性）
漠然としていたジャズの世界がクリアになった。とてもためになった。（市内、40代女性）

担当者
コメント

多様なジャンルの音楽について理解を深めるための入門講座。講師は音楽ジャーナリストの小室敬幸氏。今回はJAZZ長久手公演への布石としてジャズの歴史を中心とした歴史を紹介した。数々のエポックメイクとなった人物や出来事を交えて初心者にも判りやすい内容であった。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 保育園 工作ワークショップくっつけまつり

日時 令和5年2月1日（水）

場所 長久手東保育園

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 小林大地（造形作家、元文化の家創造スタッフ）

公演内容 木片や、小瓶、ビンのフタ、せんたくばさみ、ビーズや小石など、いろんな材料を自由にくっつけて、「何か」を作る未就学児に特化した工作ワークショップ。「何か」という漠然とした広い範囲で考えることで、子どもたちが、迷わずに自由に作り始めることができ、個性を發揮することができる。創造性を刺激するアウトリーチワークショップとして実施した。

入場者数 30

支出	委託費	60,000円
	計	60,000円

収入	入場料	0円
	計	0円

回収率 0.0%

アンケート結果 たのしかった（年長、男子）
4つもつくることができた、またやりたい（年長、女子）
普段集中するのが難しい子もいたが、今日は最後まで真剣に夢中で作っていた（担当保育士）

担当者
コメント

非常に個性豊かな作品がたくさん完成した。アウトリーチのため、参加者は年長保育園児を対象とし、申し込み制ではないにも関わらず、参加者全員が作品を制作することができ、誰も置いてきぼりになることは無かった。子どもたちは終了時刻になっても作品制作に夢中になっている子が多く、その集中力に驚かされた（約1時間半）完成した作品は、一定期間文化の家ロビーに展示され、来場者の目を楽しませた。



公演名	文化と地域デザイン講座～長久手市編～ 「公立文化施設は、どうすれば住民主体のまちづくり拠点になれるのか？」		
日時	令和5年2月7日（火）	14時00分 開演	
場所	長久手市文化の家 光のホール		
事業の種類	普及・啓発事業	配信	リアルタイム・後日
出演者	中本正樹（小美玉市生活文化課 四季文化館みの～れ 課長補佐）、松本 茂章（文化と地域デザイン研究所代表）		
公演内容	観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等の幅広い各分野との横断的な文化芸術の施策を紹介するとともに、専門家や先進地である自治体からゲストを招く講座シリーズ。 テーマ：公立文化施設は、どうすれば住民主体のまちづくり拠点になれるのか？ ゲスト：中本正樹（小美玉市生活文化課 四季文化館みの～れ 課長補佐）		
入場者数	23	入場率	57.5%
支出	委託費	80,000円	
	印刷製本費	11,445円	
	計	91,445円	
収入	入場料	0円	
	(補助金)文化庁	40,000円	
	計	40,000円	
回収率			43.7%
アンケート結果	小美玉市の市民参画、すばらしかった！唯一無二！勉強になった（市内、30代女性） 情熱と知性にあふれたお話で感動した。立場を越えた対話の文化に向き合えたらと思う（市外、40代男性） 小美玉に中本氏のような人がいてうらやましい。愉しそうな市がimageされる（市外、70代女性）		
担当者コメント	まちづくりの視点から、全国のさまざまな事例を紹介する「文化と地域デザイン」講座。今年度3回目は、文化の家と同じ直営の公立文化施設「みの～れ」（小美玉市）で中心的な役割を果たしている中本正樹課長補佐を招いて、市民参加型その理念である「対話の文化」に基づく事例が紹介された。当事者意識を徹底的に植え付けて市民を主役にし、シティプロモーションと結びつけている秀逸な手腕は長久手にも取り入れられるべき点と考える。		



長久手市文化の家 自主事業報告書

公 演 名 音楽講座シリーズ④ クラシック

日 時 令和5年3月5日（日） 14時00分 開演

場 所 長久手市文化の家 光のホール

事業の種類 普及・啓発事業 配信 なし

出演者 小室敬幸（講師）

公演内容 クラシックの聴き方講座

入場者数 54 入場率 65.9%

チケット料金 （前売）500円
（当日）500円

支 出	委託費	60,000円
	計	60,000円

収 入	入場料	31,100円
	計	31,100円

回 収 率 51.8%

アンケート結果 クラシック音楽が全くわからない私でも楽しく学べました！（市外、20代女性）
録音による音楽の歴史、聞くことの出来ないお話とてもよかった。（市外、80代女性）
本当におもしろかった…今後もこの種の講座を期待したい。（市内、70代男性）

担当者
コメント

今年度から開催している、音楽ライター小室敬幸氏による音楽講座シリーズ。全4回にわたった同シリーズの最後は、クラシック音楽の講座。3月14日に開催予定のパトリツィア・コパチンスカヤのヴァイオリンリサイタルに合わせて、彼女を中心にクラシック音楽界の動向について解説された。講座の後にはリサイタルのチケット購入をしている人もおり、実際に演奏を聴く機会へとつなげることができた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 創造スタッフ企画 テーブルゲームラボ

日時 令和5年3月21日（火） ①10時00分②14時00分

場所 長久手市文化の家 美術室

事業の種類 自主創造活動事業 配信 なし

出演者 高野葵（美術系創造スタッフ）

公演内容 美術系創造スタッフ高野葵が行う、一から新しいゲームとルールを作るオリジナルワークショップ。ワークショップを通じて、子どもたちの発想力を培うだけでなく、初対面の相手と会話をしながら作品を作ることで、コミュニケーション能力を養う。

入場者数 18 入場率 45.0%

支 出	印刷製本費	29,060円
	計	29,060円

収 入	入場料	0円
	計	0円

回収率 0.0%

アンケート結果 ともだちとあそべて、ゲームを考えて、つくったりして、せつめいもたのしかった。（9才女性）
 使える材料が多くて、面白かった。いろんな事ができて楽しかった。（10才男性）
 とても楽しかった。初対面の人も仲良く遊べて良い思い出になった。（13才女性）

担当者コメント 参加者からは非常に好評であった。小学生高学年と中学生の参加を対象とした事業であり、中学生の参加もあったことは成果であった。ゲームを作ることを楽しめたのはもちろんだが、開始前は静まり返っていた会場が、終了時には大騒ぎになっており、ゲーム制作を通して、はじめて出会った子とかなり仲良しになっていた。コミュニケーションWSという趣旨を大きく達成することができた。



長久手市文化の家 自主事業報告書

公演名 劇王2022関連企画「げきたまご」

日時 令和5年2月8日（水）、3月26日（日） ※撮影日

場所 長久手市文化の家 光のホール

事業の種類 育成事業 配信 あり

出演者 「決めつけられる男」作・演出：屑屋あず、出演：那由、安元勇人（ハコトバコ）、むぎ
「おままごと」作・演出：すずね、出演：たまおき瞳夏、増添ニヒル、鷺鳥恵

公演内容 劇王関連企画『げきたまご』

入場者数 -

支出	【委託費】 動画収録出演委託（2人分）	10,000円
	計	10,000円

収入	【入場料】	
	計	0円

回収率 0.0%

アンケート結果 動画配信のためなし

担当者
コメント

げきたまご講座の成果を発表する場を設けたいとのことで企画した配信企画。撮影日まで、各グループで稽古を重ね、完成度の高い作品となった。配信もカメラを複数使用し、画面を切り替える等、工夫をこらした。また、チラシ作成などアートワークにもげきたまご受講生が参加、作品を作り上げる過程も学ぶことができた。



2

長久手市文化の家に関する情報・データ

1 長久手市文化の家について

長久手市文化の家は、市内の文化活動の拠点となるべく 1998 年（平成 10 年）7 月 15 日に開館しました。舞台公演から式典、集会まで幅広く対応できる可変式の「森のホール」とシンプルでオーソドックスな形式の「風のホール」、さらに実習・練習機能や情報・交流機能を備えた芸術文化空間「アトリビング」からなる総合文化施設です。

文化の家の命名は、“市民全体の「家」となってほしい”、“市民が「我が家」を感じるような親しみ深い施設になってほしい”という願いと、20 世紀中頃フランスで起こった地方からの文化発信運動「文化の家運動」に因んでいます。開館以来、長久手市文化マスタープラン（1998 年第 1 次、2007 年第 2 次、2018 年第 3 次策定）に基づき行ってきた自主事業の数々の取組は、地方自治体の文化行政における先駆けとして全国的に評価され、2006 年には愛知県内の施設として初めて JAFRA アワード（総務大臣賞）を受賞しました。市内人口約 1% を芸術家が占める「アートのまち・長久手」として、人と人を結びつける文化・芸術の力で、市民のみなさまと「ともに創る、きらめく長久手」の実現に取り組んで参ります。

施設概要	所在地	480-1166 愛知県長久手市野田農 201 番地
	敷地面積	24902.89 m ²
	建物面積	7,894.54 m ²
	延床面積	17,488.09 m ²
	構造種別	SRC 造、RC 造及び S 造
	階数	地上3階、地下2階
主要施設	ホール施設	森のホール (固定席 384～717 席、ほかに車いす対応 6 席)
		風のホール (194 席又は 292 席、ほかに車いす対応 6 席)
	アトリビング	光のホール(82 席)、展示室
		音楽室、音楽スタジオ、小音楽室
舞踊室、美術室、食文化室、多目的室 暗室、会議室(5 室)、講義室(2 室)、和室(2 室)		
森のホール	コンサートや演劇、舞踊といった舞台公演から式典、集会まで幅広く対応することができる最大 717 席のホールです。客席は、舞台が見やすいように馬蹄形になっており、舞台と客席の一部が可動式です。プロセニウムアーチが前後に移動することで、さまざまな舞台空間を作り出すことができます。	
風のホール	292 席の固定席を持つシンプルでオーソドックスなホールです。主に演劇、舞踊対応のホールですが、プロセニウムアーチの後ろに可動式の音響反射板を備え、小規模コンサートやピアノ発表会などにも利用することができます。音響反射板を利用した場合、客席は 194 席になります。	

沿革

1998年	3月	第1次長久手町文化マスタープラン策定
	7月	長久手町文化の家開館
1999年	8月	第1回長久手地域演劇祭開催
2000年	9月	第1回長久手国際オペラ声楽コンクール開催
	11月	入館者100万人達成
2001年	4月	川上實館長就任
2005年	6月	エデュケーションプログラム「であーと」開始
2006年	7月	ガレリアコンサート開始 ステージ・ラボ（長久手会場）開催
2007年	1月	JAFRA アワード（総務大臣賞）を愛知県内で初受賞 入館者500万人達成
	3月	第2次長久手町文化マスタープラン策定
	11月	ながくてアートフェスティバル開催。
2008年	10月	開館10周年記念公演 秋吉敏子ジャズトリオ公演開催
2012年	1月	市制施行、長久手市文化の家となる。
	7月	coba produced 長久手応援ソング4曲初演
2015年	10月	情報誌「ハレとケ」vol.1刊行
2017年	2月	大規模改修工事（2～6月）
2017年	6月	リニューアル・オープン内覧会 オフィス改革（フリーアドレス導入）
	7月	リニューアル記念公演 川上ミネ ピアノ&トークコンサート with サンドウィッチマン
2018年	3月	文化芸術マスタープラン策定（第3次）
	4月	市民館長就任（広中省子）
2019年	4月	フランチャイズアーティスト制度開始 ふくし（社会包摂）事業開始
	12月	アーカイブ・プロジェクト開始
2020年	3月	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のため臨時休館
2020年	4月	動画プロジェクト開始
2020年	6月	感染症対策を講じた上で、利用再開
2022年	4月	長久手市くらし文化部生涯学習課と統合
2022年	10月	東京大学先端科学技術研究センターと連携協定を締結

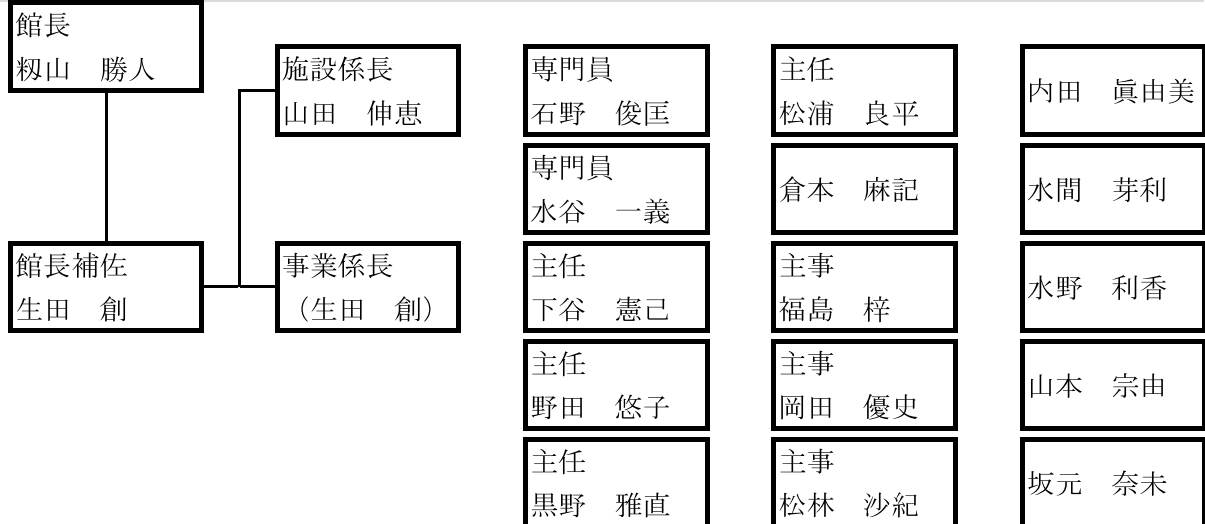
2 組織体制

(2023年3月31日現在)

長久手市くらし文化部

部長 門前 健	次長 磯村 和慶	生涯学習課長 粕谷 庸介
------------	-------------	-----------------

事務局



チラシ等デザイナー

田中 杏菜

文化の家創造スタッフ (五十音順)

演劇系 大脇 ぱんだ	音楽系 小田 智之	美術系 小西 祐矢
美術系 高野 葵	舞踊系 林 友里菜	音楽系 弓立 翔哉

長久手市文化の家運営委員会 (五十音順)

委員長 梶田 美香 <small>名古屋芸術大学教授</small>	委員 12人			
職務代理 浅野 芳夫 <small>愛知県芸術劇場館長</small>	委員 安達 彩 公募委員	委員 安藤 隆之 演劇評論家	委員 大村 真也 公募委員	委員 片野 直美 長久手おやこ劇場
	委員 川北 眞紀子 <small>南山大学経営学部教授</small>	委員 川本 達志 長久手市商工会	委員 鈴木 香代子 長久手市文化協会	委員 田中 美貴 長久手市観光交流協会
	委員 安原 雅之 <small>愛知県立芸術大学音楽学部長</small>	委員 山口 節子 文化の家フレンズ		

文化の家フレンズ

会長 水野 美々子	個人会員 125人
--------------	--------------

3 来館者数

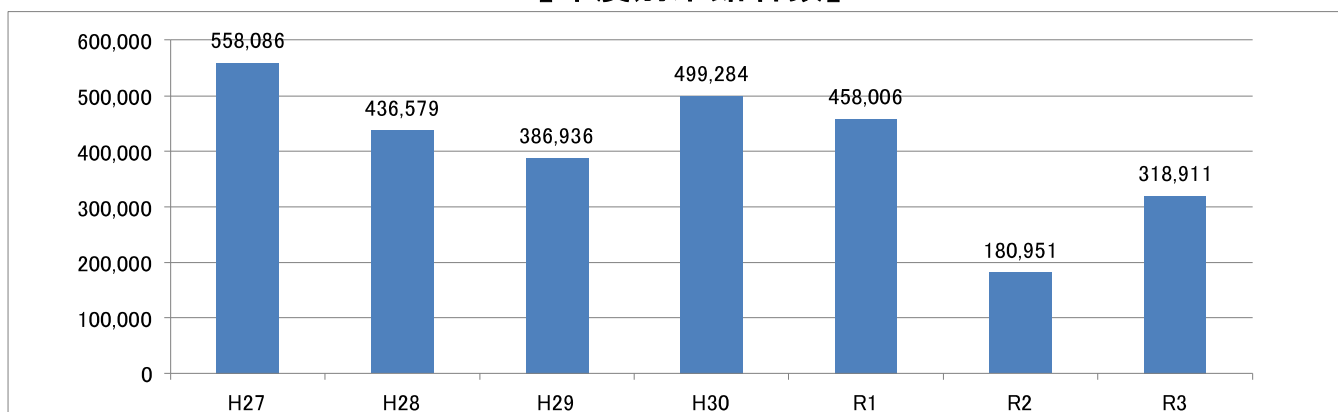
文化の家来館者数(令和4年度実績)

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
2年度	3,961	3,368	9,271	11,616	9,692	14,866	19,580	17,956	20,037	18,042	27,038	25,524	180,951	15,079
3年度	27,470	22,933	23,799	25,117	22,070	25,415	28,934	32,339	25,428	24,504	30,668	30,234	318,911	26,576
4年度	34,447	31,121	38,156	39,049	33,597	41,024	40,709	42,098	36,646	36,476	39,352	42,890	455,565	37,964

開館から令和5年3月末までの総合計 11,894,270 人

【年度別来館者数】



4 文化の家施設稼働状況

施設名 (色付きは 時間貸し施設)	稼働率(令和4年4月～令和5年3月)				
	午前	午後	夜間	全体 (令和4年4月～3月)	全体 (令和3年4月～3月)
森のホール	73.4% (188 / 256)	78.1% (200 / 256)	59.4% (152 / 256)	80.9% (207 / 256)	75.4% (193 / 256)
風のホール	74.2% (190 / 256)	78.1% (200 / 256)	54.3% (139 / 256)	85.5% (219 / 256)	77.7% (199 / 256)
光のホール	52.0% (159 / 306)	59.8% (183 / 306)	37.6% (115 / 306)	72.2% (221 / 306)	63.1% (193 / 306)
展示室	75.5% (231 / 306)	70.6% (216 / 306)	61.1% (187 / 306)	83.0% (254 / 306)	73.5% (225 / 306)
舞踊室	93.1% (285 / 306)	95.4% (292 / 306)	94.1% (288 / 306)	99.0% (303 / 306)	97.1% (297 / 306)
音楽室	97.7% (299 / 306)	94.8% (290 / 306)	96.1% (294 / 306)	100.0% (306 / 306)	98.0% (300 / 306)
小音楽室	87.6% (268 / 306)	98.4% (301 / 306)	95.1% (291 / 306)	100.0% (306 / 306)	99.7% (305 / 306)
音楽スタジオ	81.4% (249 / 306)	96.7% (296 / 306)	91.5% (280 / 306)	100.0% (306 / 306)	93.8% (287 / 306)
美術室	67.3% (206 / 306)	79.1% (242 / 306)	40.8% (125 / 306)	91.8% (281 / 306)	88.9% (272 / 306)
多目的室	95.8% (293 / 306)	93.1% (285 / 306)	86.6% (265 / 306)	100.0% (306 / 306)	98.0% (300 / 306)
暗室	14.1% (43 / 306)	15.0% (46 / 306)	12.7% (39 / 306)	15.0% (46 / 306)	10.5% (32 / 306)
和室 1	79.7% (244 / 306)	77.5% (237 / 306)	35.6% (109 / 306)	91.5% (280 / 306)	79.1% (242 / 306)
和室 2	76.5% (234 / 306)	76.1% (233 / 306)	31.4% (96 / 306)	90.8% (278 / 306)	73.5% (225 / 306)
食文化室	39.5% (1572H / 3978H)			81.0% (248 / 306)	71.6% (219 / 306)
講義室 1	60.5% (2405H / 3978H)			97.7% (299 / 306)	96.7% (296 / 306)
講義室 2	62.1% (2471H / 3978H)			97.7% (299 / 306)	98.7% (302 / 306)
会議室 1	68.2% (2714H / 3978H)			98.7% (302 / 306)	93.8% (287 / 306)
会議室 2	66.5% (2647H / 3978H)			97.7% (299 / 306)	87.3% (267 / 306)
会議室 3	68.9% (2742H / 3978H)			98.7% (302 / 306)	91.5% (280 / 306)
会議室 4	65.4% (2600H / 3978H)			97.1% (297 / 306)	83.7% (256 / 306)
会議室 5	67.2% (2674H / 3978H)			97.4% (298 / 306)	89.2% (273 / 306)

※食文化室、講義室1・2、会議室1～5は時間貸し対応施設

5 決算状況

(1) 令和4年度文化の家歳入

(単位：円)

款	項	目	節	収入額	内訳
13 使用料及び手数料	1 使用料	7 教育使用料	8 文化の家使用料	36,785,498	施設使用料 35,560,850 レストラン等使用料 1,224,648
14 国庫支出金	2 国庫補助金	5 教育費 国庫補助金	3 社会教育費 補助金	1,705,000	文化芸術振興費補助金 1,705,000
16 財産収入	1 財産運用収入	1 財産貸付収入	1 土地及び 建物貸付収入	1,945,872	建物貸付収入 1,945,872
20 諸収入	4 雑入	1 雑入	7 教育雑入	20,916,479	瀬戸信用金庫 地域振興協力基金助成金 1,118,000 事業入場料 8,232,900 コピー代 71,870 公衆電話使用料 3,030 アトリビング講座受講料 2,401,000 レストラン光熱水費 972,679 地域の文化・芸術活動助成事業助 成金 1,900,000 劇場・音楽堂等 機能強化推進事業補助金 6,117,000 会場運営費 100,000
歳入計					61,352,849

(2) 令和4年度文化の家歳出

(単位：円)

区分	支出額	内訳	
1 報酬	10,031,022	会計年度任用職員報酬	10,031,022
2 給料	43,393,763	一般職給料	43,393,763
3 職員手当等	33,686,233	職員手当等	31,685,685
		会計年度任用職員期末手当	2,000,548
4 共済費	14,615,614	地方公務員共済組合負担金等	14,615,614
7 報償費	7,295,100	文化の家運営委員会等報償金	124,100
		文化の家デザイナー報償金	1,130,000
		講座・講演等報償金	5,891,000
		市長賞受賞者報償金	150,000
8 旅費	594,960	普通旅費	43,400
		特別旅費	252,120
		費用弁償	1,800
		会計年度任用職員旅費	36,440
		会計年度任用職員通勤費	261,200
10 需用費	73,299,109	消耗品費	3,873,832
		燃料費	57,706
		食糧費	43,550
		印刷製本費	2,331,661
		光熱水費	56,315,023
		修繕料	10,677,337
11 役務費	2,554,036	通信運搬費	1,027,017
		広告料	286,000
		筆耕翻訳料	110,000
		火災保険料	157,893
		自動車損害保険料	43,470
		損害保険料	380,360
		自動車点検等手数料	20,350
		手数料	528,946
12 委託料	176,806,582	電気保安全管理業務委託	1,325,280
		舞台管理業務委託	35,848,973
		舞台関係保守点検委託	16,140,300
		施設管理業務委託	82,328,953
		ピアノ保守点検委託	613,800
		除草等委託	1,595,528
		音楽スタジオ備品保守点検委託	132,000
		建築設備定期検査委託	418,000
		光のホール映像設備保守点検委託	356,400
		プリンタ複合機等保守点検委託	399,036
		自家発電設備点検委託	264,000
		廃棄物処理委託	238,936
		施設予約システム改修委託	55,000
		非常放送設備不具合調査委託	99,000
		自家発電設備調査委託	55,000
		電気室エアコン冷媒ガス漏れ調査委託	250,800
		厨房設備清掃委託	107,800
		アスベスト調査委託	66,000

区分	支出額	内訳	
		特定天井設計業務委託	15,510,000
		創造スタッフ委託	3,300,000
		事業・公演等委託	16,716,083
		看板作成委託	220,000
		公演撮影委託	350,000
		展示物管理委託	415,693
13 使用料及び賃借料	4,226,908	道路通行料	22,970
		放送受信料	46,135
		A E D 賃借料	51,480
		コピー機使用料	965,100
		文化の家ホームページサーバ賃借料	16,044
		文化の家ホームページ用ドメイン使用料	4,312
		オンラインサービス使用料	123,200
		マット等借上料	36,441
		印刷機賃借料	169,752
		電話交換機賃借料	95,832
		施設予約システム等利用料	1,726,980
		自動車借上料	340,920
		著作権使用料	122,270
		ライセンス使用料	107,712
		大道具等借上料	99,000
		映画観賞会フィルム借上料	298,760
14 工事請負費	10,318,000	植栽管理工事	6,517,500
		高圧ケーブル取替工事	3,443,000
		文化の家会議室防音工事	357,500
15 原材料費	29,498	原材料費	29,498
17 備品購入費	160,600	事務用備品	160,600
18 負担金、補助及び交付金	3,860,000	公立文化施設協議会負担金	36,000
		日本舞台音響家協会負担金	9,000
		日本照明家協会負担金	15,000
		事業・公演等負担金	3,800,000
22 償還金、利子及び割引料	55,200	返還金	55,200
26 公課費	5,000	重量税	5,000
歳出計			380,931,625

6 視察等対応

受入団体等一覧

日程	視察者及び目的	人数
12月21日(水)	豊川市文化会館	3
	目的 文化の家自主事業について	

大学インターンシップ・中学校職場体験実習等報告

長久手市文化の家へのインターンシップ希望者や市内中学校からの職場体験依頼について受け入れを行った。プログラムは文化の家の特性を生かした劇場業務体験として設定し、公演鑑賞を始め、リハーサルや準備への立ち会いや、打合せ同席などを体験してもらうほか、対話型鑑賞のワークショップや、美術系創造スタッフによる創作を通したコミュニケーションワークショップを実施するなど多岐に渡って文化芸術を体験できるプログラムとしている。基本的には各学校から依頼のあったものについて対応している。受け入れ状況は以下のとおり。

日程	所属	人数	日程	所属	人数
8月16日(火)	名古屋音楽大学	1	1月13日(金)	長久手中学校職場体験	2
8月17日(水)	名古屋音楽大学	1	1月27日(金)	愛知医科大学	2
8月19日(金)	愛知淑徳大学	2	1月31日(火)	愛知医科大学	2
8月20日(土)	愛知淑徳大学	2	2月24日(金)	愛知教育大学	7
8月21日(日)	愛知淑徳大学	2	~3月19日(火)	社会教育実習	
12月8日(木)	名古屋芸術大学	1	3月3日(金)	愛知淑徳大学	3
12月22日(木)	名古屋芸術大学	1	3月4日(土)	愛知淑徳大学	3
12月23日(金)	名古屋芸術大学	2	3月5日(日)	愛知淑徳大学	3
1月12日(木)	長久手中学校職場体験	2	年間受入日数31日、受入人数38人		



7 職員による諸活動

日付	活動内容	職員
5月17日(火)	愛公文セミナーⅠ アシスタント講師	靱山勝人
5月18日(水)	アウトリーチ情報交差点①パネリスト (主催:福島県いわきアリオス) ※Zoom	生田創
5月21日(土)	碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会 審査委員	靱山勝人
7月8日(金)	愛公文セミナーⅡ アシスタント講師	靱山勝人
7月19日(火)	文化庁委託事業「劇場・音楽堂等への芸術文化活動 支援」(主催:全国公立文化施設協会) 大阪府熊取町文化活動支援員	靱山勝人
8月5日(金)	愛知教育大学社会主事研修 研修会講師	靱山勝人 野田悠子
8月18日(木)	愛公文セミナーⅢ アシスタント講師	靱山勝人
8月29日(月)	2022年度愛知県文化活動事業補助金企画審査会 企画審査会委員	靱山勝人
9月4日(日)	地域音楽コーディネーター育成講座の講師 (主催:公益財団法人音楽文化創造) ※Zoom	生田創
9月26日(月)	静岡県公立ホール連携支援研修事業講師 (主催:公益財団法人静岡県文化財団)	生田創
9月27日(火)	文化庁委託事業「劇場・音楽堂等への芸術文化活動 支援」(主催:全国公立文化施設協会) 大阪府熊取町文化活動支援員	靱山勝人
10月11日(火)	南山大学での講師(長久手市文化の家の取り組み、 創造スタッフの紹介)	生田創
10月17日(月)	中部楽器技術専門学校での講師 文化の家の取り組みについての紹介	生田創

11月5日(土)	碧南市芸術文化ホール指定管理者審査委員会 審査委員	靱山勝人
11月9日(水)	文化会館セミナー講師(主催:西尾市文化会館) 文化の家の取り組み、創造スタッフについて	靱山勝人 生田創
11月11日(金)	名古屋芸術大学での講師 (文化芸術におけるキャリアについて)	生田創
12月11日(日)	日本アートマネジメント学会第24回全国大会(オンライン) 研究発表「劇場職員と契約アーティストとの関係性--長久手市文化の家創造スタッフの事例」	山本宗由 生田創
12月20日(火)	南山大学での講師(長久手市文化の家の取り組み、創造スタッフの紹介)	生田創
12月20日(火)	文化庁委託事業「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援」(主催:全国公立文化施設協会) 山形県鶴岡市文化活動支援員	靱山勝人
1月19日(木) ~20日(金)	劇場職員セミナー(主催:愛知県芸術劇場) 講師	靱山勝人 黒野雅直
1月29日(日)	地域音楽コーディネーター育成講座講師 (主催:公益財団法人音楽文化創造) ※Zoom	生田創
2月4日(日)	アウトリーチ育成講座講師(主催:アウトリーチラボ)	野田悠子
2月18日(土) ~19日(日)	電光石火一発座「表現の不自由に纏わる三編」音響プラン	石野俊匡
2月28日(火)	アウトリーチ情報交差点②パネリスト (主催:福島県いわきアリオス) ※Zoom	生田創
3月26日(日)	日本音楽芸術マネジメント学会発表 (文化の家アウトリーチについて)	生田創

8 広報・情報関連報告

■ ケーブルテレビ（ひまわりネットワーク「Weeklyながくて」）放映

放映日	コーナー名	内容
4月4日	まちびとキラリ	文化の家創造スタッフ 小林大地さん
5月23日	ながくてまち便り	みんなでありがとうの花をさかせよう
11月28日	ながくてまち便り	ハイキングコンサート 2022
1月30日	ニュース	朗読と音楽で紡ぐ名作シリーズ
2月20日	ニュース	文化と地域デザイン講座

■ 新聞等掲載（2022年1月1日～2022年12月31日）（単位：件）

中日新聞社	朝日新聞社	毎日新聞社
22	20	2
読売新聞社	その他	合計
3	0	47
広告換算金額	33,904,643円	

■ 各種 SNS 活用による広報活動（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

1 公式 Twitter

アカウント名	@bunkanoie
フォロワー数（2023年3月31日時点）	2,245
投稿数（2022年度）	375

2 公式 Facebook ページ

URL	https://www.facebook.com/bunkanoie/
フォロワー数（2023年3月31日時点）	1,731
投稿数（2022年度）	164

3 長久手市文化の家 official YouTube チャンネル

URL	https://www.youtube.com/user/bunkanoie
フォロワー数（2023年3月31日時点）	197
投稿数（2022年度）	13

4 公式 Instagram

アカウント名	長久手市文化の家 (@bunkanoie)
フォロワー数 (2023年3月31日時点)	463
投稿数 (2022年度)	31

5 公式 LINE アカウント

アカウント名	長久手市文化の家
おともだち登録数 (2023年3月31日時点)	332
配信回数 (2022年度)	29